



*Ultra Wide SCSI*

*PCI BOARD*

*REX-PCI31*

For DOS/V

ユーザーズマニュアル



2000年5月

第1.0版



ラトックシステム株式会社

<http://www.recpcard.co.jp>

# 目次

## ユーザーズマニュアル

はじめに .....	1
安全にお使いいただくために必ずお読みください .....	1
本文中の記号説明 .....	1
対応パソコンと対応 OS(オペレーティングシステム) .....	3
制限 .....	3
梱包品について .....	4
添付のソフトウェアについて .....	5
お問い合わせをする前に .....	6
製品に関するお問い合わせ .....	7
<b>1 . SCSI ボードの取り付け .....</b>	<b>9</b>
ボード取り付け後の確認 .....	13
接続できる台数とケーブルの長さ .....	14
<b>2 . Windows 98/95 インストール済みにて使用する .....</b>	<b>15</b>
Windows 98 ミニポートドライバのインストール .....	15
Windows 95 ミニポートドライバのインストール .....	19
Windows 98/95 ミニポートドライバのインストール確認 .....	21
SCSI ユーティリティのインストール .....	24
SCSI 機器の確認 .....	25
<b>3 . Windows 98/95 での SCSI ユーティリティについて .....</b>	<b>26</b>
Windows 98/95 専用 SCSI フォーマットユーティリティ .....	26
Windows 98/95 用 SCSI 機器接続確認ユーティリティ .....	29
<b>4 . 起動ディスク(DOS)での使用について .....</b>	<b>31</b>
Windows 98 起動ディスクの編集 .....	31
Windows 95 起動ディスクの編集 .....	32
Drive Image 起動ディスクの編集 .....	33
SCSI CD-ROM をアクセスする .....	34
SCSI DVD-RAM をアクセスする .....	35
REXCD.SYS のパラメタ .....	35
REXDISK.SYS のパラメタ .....	36

# 目次

<b>5</b>	<b>.Windows 2000 での REX-PCI31 のインストール</b>	<b>38</b>
	新しいハードウェアの検索ウィザード	38
	ドライバインストールの確認	41
	SCSI ユーティリティのインストール	45
	WNASPI32.DLL の組込み (オプション)	46
	WNASPI32 のインストール方法	46
	WNASPI32 のアンインストール方法	46
<b>6</b>	<b>. Windows NT インストール済みにて使用する</b>	<b>48</b>
	Windows NT に SCSI アダプタ (ドライバ) を追加	48
	ドライバ起動の確認	50
	スワップファイルを SCSI ハードディスクに	51
	SCSI ユーティリティのインストール	52
	WNASPI32.DLL の組込み (オプション)	53
	WNASPI32 のインストール方法	53
	WNASPI32 のアンインストール方法	53
<b>7</b>	<b>. SCSI コンフィギュレーションユーティリティについて</b>	<b>54</b>
	プログラム起動方法	54
	コンフィギュレーション画面	55
<b>8</b>	<b>. トラブルシューティング</b>	<b>58</b>
	<b>オペレーティングシステム共通のトラブル</b>	<b>58</b>
	SCSI-BIOS スタート画面が表示されない場合	58
	SCSI-BIOS の起動画面を非表示にしたい場合	58
	FUJITSU MO(M2512A, M2513A) を使用の場合	59
	PC98-NX で SCSI ハードディスクより起動する場合	59
	REX-PCI31 を装着するとシステム起動が遅くなる場合	60
	IDE の CD-ROM が使えない場合	60
	<b>Windows98/95 のトラブル</b>	<b>60</b>
	REX-PCI31 のドライバを完全削除するには	60
	Windows 98 でドライバ更新する場合	63
	Windows 95 でドライバ更新する場合	66
	データ転送中にハングアップしたり VXD 中断画面になったりする場合	67
	SCSI 機器に対して転送速度を設定する場合	68
	ドライバがインストールされていないとなる場合	68

# 目次

---

全体的なシステムのパフォーマンスが低下しますと表示される場合	68
その他のデバイスに PCI SCSI BUS Controller が表示される場合	68
その他のデバイスに PCI Brige として登録される場合	69
PC98-NX でデバイスマネージャの画面が表示されない場合	69
SCSI HD が second IDE HD より前のドライブ名となる場合	69
SCSI 機器接続確認で準備ができていませんと表示される	69
UltraSCSI 対応機器が SCSI-2 と表示される場合	70
不明なデバイスが検出されると表示の場合	70
フォーマットユーティリティ (REXFMT95) で CDR, CDRW, DVD が 認識されない	70
<b>Windows2000 のトラブル</b>	<b>71</b>
SCSI ボード経由で Windows 2000 をインストールするには	71
REX-PCI31 ドライバを完全削除するには	72
Device のプロパティ - SCSI のプロパティでの設定がきかない	74
FUJITSU MO(M2512A, M2513A) を使用の場合	74
スキャナを検出できない場合	74
MO/PD でフォーマットが完了しない場合	75
ドライブ名が割り当たらない場合	75
<b>WindowsNT のトラブル</b>	<b>76</b>
スキャナを検出できない場合	76
MO/PD アクセスでパラメタに誤りがありますの場合	76
ドライブ名が割り当たらない場合	77
<b>DOS/Windows3.1 のトラブル</b>	<b>77</b>
PD, Changer の一部が認識できない場合	77
640MB の MO メディアを使用するとハングアップする場合	77
<b>システムに関する情報の作成手順</b>	<b>78</b>

## はじめに

このたびは REX-PCI31 Ultra Wide SCSI PCI ボードお買い上げ頂き誠にありがとうございます。今後もドライバのバージョンアップなど、より一層のサポートを充実していきますので末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

本書は、REX-PCI31 の導入ならびに運用方法を説明したマニュアルです。REX-PCI31 を正しくお使い頂くため、ご使用前に必ず本書をよくお読みください。

なお、次項「安全にお使いいただくためにはじめにお読みください」をまずお読みください。

また、添付ディスクに入っている README ファイルには本マニュアルに記載できなかった最新情報がありますので合わせてご覧ください。

### 安全にお使いいただくために必ずお読みください

このユーザズマニュアルには、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止し、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項が示されています。表記と記号の意味を理解してからお読みください。

#### 本文中の記号説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いを行うと人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いを行うと人が負傷を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。
ご注意	この表示は、本製品を取り扱う上での注意事項を示しています。



#### 分解禁止：発火のおそれがあります

ボードの分解や改造等は絶対に行わないでください。また、無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重いものをのせることは行わないでください。



パソコン本体の電源（メイン）をオンのまま、REX-PCI31 の抜き差しをしないでください。

## はじめに

---



煙が出たり、変な臭いがする場合は、ただちにパソコンや周辺機器の電源を切り、電源ケーブル等もコンセントから抜いてください。

必ず、販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。



ボードが濡れた場合、ショートによる火災や感電のおそれがあるため使用しないでください。

必ず、販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。



ボードは電子機器ですので静電気を与えないようにしてください。故障するおそれがあります。



ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは高周波の信号により、ノイズを与え誤動作することがあります。



モータなどノイズを発生する機器の近くでは誤動作することがありますので、必ず離してご使用ください。



本製品（ソフトウェアを含む）は、日本国内仕様です。日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。



本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送設備など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生しても弊社ではいかなる責任も負いかねます。



保管に関するご注意：

本製品を保管する場合、故障の原因となりますので次のような場所での保管は避けてください。

- ◆ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所、暖房器具等の近く、温度差の激しい場所
- ◆ チリやほこり、湿気の多い場所
- ◆ 振動や衝撃の加わる場所

## 対応パソコンと対応 OS(オペレーティングシステム)

本製品は、PCI ローカルバス 2.0 仕様以降の PCI スロットを装備している PC/AT 互換機、NEC PC98-NX パソコン ( 1 ) に対応しています。

また、以下のオペレーティングシステムに対応しています。

オペレーティングシステム	DOS/Vパソコン	NEC PC98-NX
Windows 95	対応	対応
Windows 98	対応	対応
Windows 2000	対応	対応
Windows NT4.0	対応	対応
DOS/Windows 3.1	対応	未対応 2

1 : NEC PC-9821シリーズには、対応していません。

2 : PC98-NX本体がDOS/Windows 3.1をサポートしていません。

ただし、Windows 98/95起動ディスクでの使用は可能です。

一部の機種では制限があったり正常に動作しない場合もありますので、メーカー名および機種型番の詳細については弊社ホームページ (<http://www.rexpccard.co.jp>) でご確認頂くか、弊社サポートセンターに直接ご確認ください。

## 制限

- ・ SCSI ボードに複数の UltraSCSI 機器を接続する場合は、ケーブルの総延長 (SCSI バスの終端から終端まで) が 1.5m を越えないようにしてください。
- ・ PC-9821 の環境で使用していた SCSI ハードディスクは、再フォーマットが必要となります。
- ・ 本製品添付のフォーマットユーティリティ (REXFMT95、REXFMT) ではブートディスクの作成はできません。  
FDISK、FORMAT コマンドをお使いください。
- ・ SCSI ボードに接続された CD-ROM ドライブでの音楽 CD 再生では、お使いの CD-ROM ドライブが「**デジタル CD 再生**」に対応していない場合、その音声はパソコン本体の内蔵スピーカからは出力されません。CD-ROM ドライブのライン出力またはヘッドフォン端子から出力されます。

**WDM ドライバでの音楽 CD のデジタル抽出機能**

## はじめに

- Device のプロパティにある SCSI プロパティ画面の「同期転送を無効にする」を設定しても実際の動作には反映されません。REX-PCI31 の SCSI コンフィギュレーションを使用して行ってください。
- クロックアップしたパソコンでは誤動作する場合があります。標準の設定でご使用ください。
- パソコンをスリープにする時、SCSI 機器の電源を切ることができません。Windows2000 の場合、Windows の終了での [ 休止状態 ] を選択した場合には、SCSI 機器の電源を切ることが可能です。

### 梱包品について

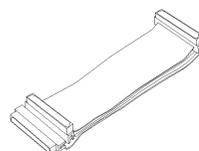
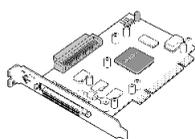
REX-PCI31 には以下のものが梱包されています。

不足の場合には、弊社サポートセンターまたは販売店にご連絡ください。

PCI ボード

内蔵用 (UltraSCSI-50pin)

フラットケーブル (注 1)



Setup Disk 3枚

ユーザズマニュアル



Windows 98/95 用 1 枚  
Windows 2000 用 1 枚  
Windows NT4.0 用 1 枚



保証書 (注 2)



(注 1) SCSI ケーブルの長さは約 90cm、コネクタは 1:2 口 です。

(注 2) 保証書は必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。

(注 3) 68 ピン内蔵用 WideSCSI ケーブル、外付け用 50 ピン SCSI ケーブル  
および外付け用ターミネータは添付しておりません。  
必要に応じてお買い求めください。

## 添付のソフトウェアについて

本製品に添付のフロッピーディスク ( SetupDisk ) には次のソフトウェアが含まれます。

### 【 Windows 98/95 用 】

- Windows 98/95 用 SCSI ミニポートドライバ(REXPC13X.MPD)
- ハードディスク/光磁気ディスク用フォーマッタ(REXFMT95.EXE) 1
- 接続 SCSI 機器確認ユーティリティ(WINSSC.EXE) 1
- SCSI コンフィギュレーションユーティリティ(SCUINICW.EXE) 1

### 【 Windows 2000 用 】

- Windows 2000 用 SCSI ミニポートドライバ(REXPC13X.SYS)
- SCSI コンフィギュレーションユーティリティ(SCUINICN.EXE) 1
- 32bit 版 ASPI マネージャ ( WNASPI32.DLL )

### 【 Windows NT4.0 用 】

- Windows NT4.0 用 SCSI ミニポートドライバ(REXPC13X.SYS)
- SCSI コンフィギュレーションユーティリティ(SCUINICN.EXE) 1
- 32bit 版 ASPI マネージャ ( WNASPI32.DLL )

### 【 DOS/Windows 3.1 用 】 - Windows98/95 用 Setup Disk に含まれます。

- DOS/V 用 ASPI マネージャ(ASP850.SYS)
- DOS/Windows 3.1 用 DISK ドライバ(REXDISK.SYS, REXDISKW.SYS)
- DOS/Windows 3.1 用 CD-ROM ドライバ(REXCD.SYS)
- Windows 3.1 用 16bit WinASPI (WINASPI.DLL, VASPIREX.386)
- DOS 用 SCSI コンフィギュレーションユーティリティ (SCUINICD.EXE)

**1 : ユーティリティのインストール(P23, P44, P51)を行わないと実行できません。**

フロッピーディスク内のディレクトリ階層構造やファイル名については同ディスク内の README ファイルを、テキストエディタ等を使用して確認してください。

**READMEファイルにはマニュアルに記載できなかった最新情報がありますので必ずご覧ください。**

### お問い合わせをする前に

Windows 98/95, Windows 2000 環境でお問い合わせをする前に、次の内容をご確認ください。

ほとんどの場合、弊社よりご質問いたしますので回答をご用意ください。

1. REX-PCI31 を装着するとパソコン起動時に、SCSI-BIOS の画面が表示されましたか？ 詳細記載ページ(P13)を参照ください。  
YES NO
2. 新しいハードウェアを見つけましたと表示されましたか？  
詳細記載ページ(P15) (P18) (P37)を参照ください。  
YES NO
3. ドライバインストールの確認で、RATOC REX-PCI33/31/FS3 SCSI PCI Controller と表示されましたか？  
詳細記載ページ(P20) (P41)を参照ください。  
YES NO
4. 2. で YES の場合、このデバイスは正常に動作していますと表示されていますか？ 詳細記載ページ(P21) (P42)を参照ください。  
YES NO
5. 3. で YES の場合、SCSI 機器確認ユーティリティ (P24) で接続してある SCSI 機器は表示されていますか？  
詳細記載ページ(P24)を参照ください。  
YES NO

Windows NT4.0 環境でお問い合わせをする前に、次の内容をご確認ください。

ほとんどの場合、弊社よりご質問いたしますので回答をご用意ください。

1. ドライバ起動の確認で、RATOC REX-PCI33/31/FS3 NT SCSI HOST Adapter と表示されましたか？ 詳細記載ページ(P49)を参照ください。  
YES NO
2. SCSI アダプタの RATOC REX-PCI33/31/FS3 NT SCSI HOST Adapter のもとに接続してある SCSI 機器が表示されていますか？  
詳細記載ページ(P49)を参照ください。  
YES NO

**製品に関するお問い合わせ**

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

**ラトックシステム株式会社**

**サポートセンター**

**TEL 0120-033555(SCSI専用 Free Dial)**

月～金 10:00～17:00 土曜、日曜および祝日を除く

FAXでの受付は24時間行っております。

FAX 06-6633-3553

〒556-0012

大阪市浪速区敷津東 1-6-14 朝日なんばビル

インターネットのホームページでも受け付けております。

**ラトックシステムのホームページ**

<http://www.rexpccard.co.jp>

また、NIFTY Serve の以下のフォーラムでも受け付けております。

**PC Vendor Station E**

**(SPCVE)**

**電子会議室 8 番「ユーザサポート」**

お問い合わせの際には、最後のページの「質問用紙」に必要事項を記入の上、上記 FAX 番号までお送りください。折り返し弊社より電話または FAX にて回答いたします。

また、インターネット、NIFTY Serve でのご質問時には、Setup Disk 内の quest.txt の書式をご利用ください。

ご質問に対する回答は上記営業時間内の処理となりますのでご了承ください。

また、ご質問の内容によりましてはテスト・チェック等の関係上、時間がかかる場合もございますので予めご了承ください。

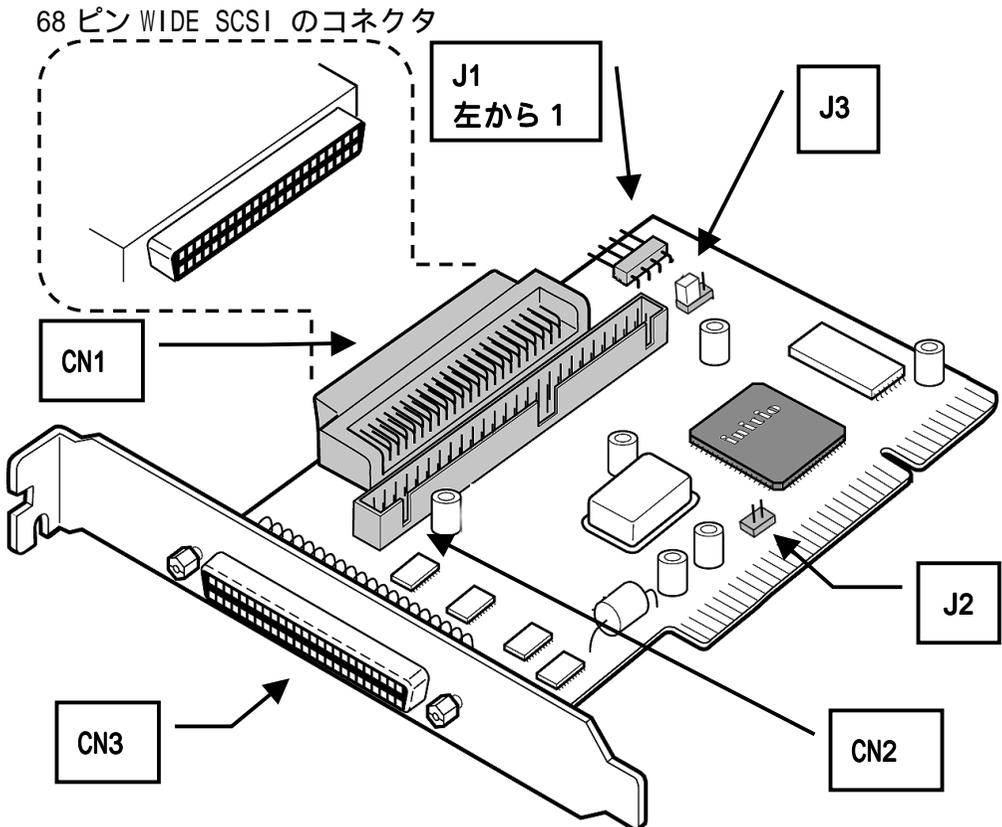


## 1. SCSI ボードの取り付け

SCSI ボードに SCSI 機器を接続して使用するには次の取り付け作業が必要です。作業の前に、現在使用しているハードディスクの内容を、フロッピーディスク等にバックアップしておいてください。

1. SCSI ボードに存在する 3 つのコネクタを確認します。

コネクタ名	用途
CN1	内蔵機器接続用 68 ピンコネクタ CN3 と形状は同じです。
CN2	内蔵機器接続用 50 ピンフラットコネクタ
CN3	外付機器接続用ハーフピッチピンタイプ 50 ピンコネクタ
J1	SCSI Bus ビジー 点燈用信号コネクタ (2 口の場合 3 と 4) ピン 1 と 4 - 電源 ピン 2 と 3 - シグナル(Active Low)
J2	常にオープンにしておいてください。
J3	SCSI-BIOS 有効 / 無効設定用



## 第 1 章 SCSI ボードの取り付け

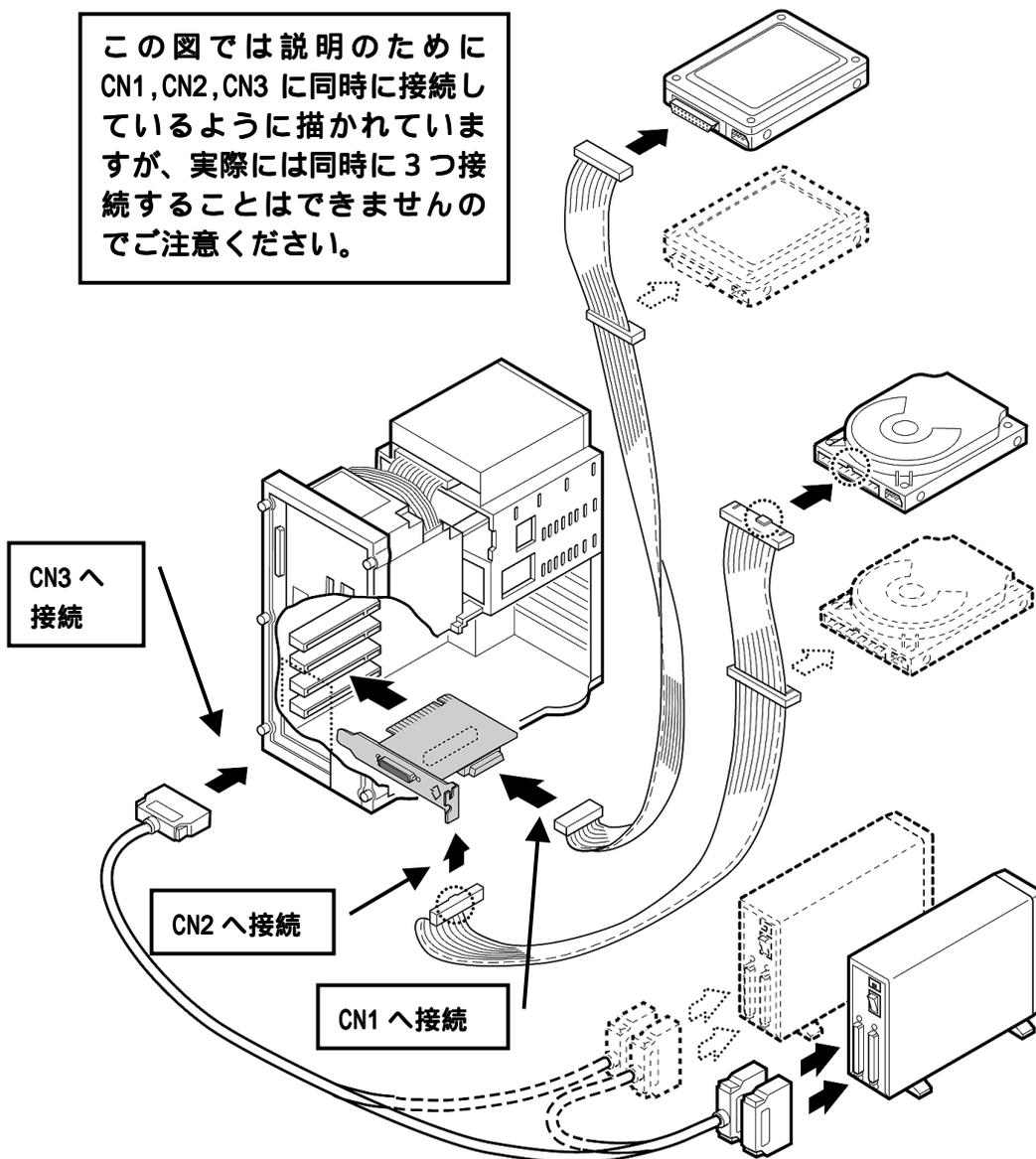
2. パソコンの電源を OFF にします。電源ケーブルを外します。

パソコンによってはフロントパネルスイッチでの電源オフでは、スタンバイやサスペンド状態になるだけでメイン電源がオフにならない場合がありますので、パソコン本体の取扱説明書でご確認ください。

パソコンのふたを開いてください。

また、あらかじめ静電気を放電します。

パソコン本体、および SCSI ボードの裸金属部に手を触れてください。



## 第 1 章 SCSI ボードの取り付け

---

3. PCI Bus スロットを確認し図のようにセットします。この例では IDE HD は接続されていません。SCSI 環境の接続レイアウトを示しています。  
外部コネクタがシステムユニットの背面に面するように設置し、PCI Bus スロットに合うように挿入してください。金色の接触部が白いソケットに完全に入り見えなくなるまで挿入します。相当の力が必要な場合があります。  
挿入されたら取り付けパネルのネジを締めボードを固定します。ネジは不要場合があります。  
図中の 68pin 内部接続用ケーブル、50pin 外部接続用ケーブル、外部ターミネータは添付しておりません。50pin 内部接続用ケーブルは添付しております。  
SCSI コネクタ 3 系統ありますが、同時に使用できるのは 2 系統です。
4. 外部接続 SCSI 機器と内部接続 SCSI 機器をそれぞれのマニュアルに沿ってインストールします。  
内蔵 SCSI 機器がない場合は、CN1, CN2 へは何も接続する必要はありません。  
SCSI 機器は 50pin 接続総計 7 つまでと内部 68pin 接続の総計 8 つまで接続が可能です。  
接続方法例とターミネータの設定方法を説明します。  
ターミネータは必ず SCSI Bus ライン上の両端に設定しなければなりません。
5. 内蔵 SCSI の最終端の機器は、**ターミネータが必要です。**  
外付け SCSI の最終端の機器にも、**ターミネータが必要です。**  
REX-PCI31 のボード上でのターミネータは、通常 BIOS 設定で **Automatic** の設定で接続状態を検出して自動的に動作します。  
たとえば、内蔵 50pin と内蔵 68pin の SCSI 機器がある場合や、外部 50pin と内蔵 50pin の SCSI 機器がある場合、SCSI ボードの low ターミネータは OFF で、high ターミネータは ON として動作します。
6. SCSI ID の設定例を示します。  
SCSI ID は一つの SCSI Bus ライン上に同じ番号があってはなりません。  
50pin 内蔵機器は 0~4 を 68pin 外部機器は 5~6 を 68pin 内部機器は 8~15 を使うと決めておくといいでしょう。50pin 内蔵機器は 0~2 で 68pin 外部機器は 3~6 を使うと決めてもかまいません。守らなければ

## 第 1 章 SCSI ボードの取り付け

---

ならないことは、同じ番号があってはならないことです。

7. 68pin 内部接続用 WideSCSI ケーブルは別途用意してください。ボードの CN1 コネクタに 68 ピン Wide ケーブルを差し込みます。  
CN2 コネクタには内蔵用 68 ピンケーブルを差し込みます。コネクタにはピン 1 を示す マークがついています。50 ピンフラットケーブル上の端に 1 本のみある色付きストライプの線が マークに合うように差し込みます。コネクタのピンは折れないように注意してまっすぐに装着してください。
8. 外部接続用 SCSI ケーブルは CN3 コネクタを使用して接続します。  
コネクタのピンは折れないように注意してまっすぐに装着してください。
9. 必須事項ではありませんが内蔵 SCSI 機器にアクセスしているときのアクセスランプを点燈することができるパソコンがあります。  
パソコンの取扱説明書に書かれているハードディスク LED Cable を J1 のコネクタに差し込みます。2 口ケーブルの場合、3 番 4 番に差し込みます。  
詳しくはお手持ちのパソコンの取り扱い説明書をお読みください。
10. パソコンのカバーをもとに戻します。これで REX-PCI31 のハードウェアの取り付け完了です。  
次に SCSI-BIOS の確認を行います。

### ボード取り付け後の確認

接続している SCSI 機器の電源を ON にした状態で、システム立ち上がり時、以下の画面が表示されれば、REX-PCI31 は正常に取り付けられており PCI-BIOS レベルでは正常に動作しています。

#### SCSI-BIOS スタート画面

```
RATOC REX-PCI33/31/FS3 BIOS Ver XXX
Copyright Initio Corporation / RATOC Systems, Inc.
!!! Press < Ctrl > <l> for Smart SCSI Setup Utility !!!
!!! Press < Ctrl > <B> to boot from SCSI CD-ROM !!!
!!! Press < ESC > to continue.                !!!

        SCSI ID 0A SEAGATE ST34502LW   - Drive X: (8xh)
        SCSI ID 0B SEAGATE ST39102LW   - Drive X: (8xh)

SCSI BIOS install    1
```

- 1 ブート可能ディスクが接続されていない場合、SCSI-BIOS は常駐しないため、「SCSI BIOS install」という行は表示されません。
- 2 パソコンメーカーのロゴ画面が表示されていて、SCSI-BIOS スタート画面が表示されない場合は、ロゴ画面の裏で表示されている場合があります。ためしにパソコンメーカーのロゴ画面の表示中に [ ESC ] キーを押してみてください。
- 3 SCSI-BIOS スタート画面が表示されない場合は、SCSI-BIOS 画面の表示と同時に [ Pause ] を押してください。確認後、[ Enter ] を押すと処理が継続されます。

SCSI-BIOS スタート画面が表示されない場合は、この章の最初からを再度確認してください。

## 第 1 章 SCSI ボードの取り付け

---

### 接続できる台数とケーブルの長さ

SCSI ディジチエイン接続して使用する場合、REX-PCI31 に添付してあるケーブルのインピーダンス特性と一致したものを使用する必要があります。

インピーダンスが、90 タイプの SCSI ケーブルをご使用ください。

SCSI 機器は理論上 15 台まで接続可能です。ただし、Wide に対応していない機器は 7 台までです。

SCSI 機器が、Ultra Wide および Ultra SCSI 対応か FAST SCSI 対応かによって接続できる SCSI 機器の台数と接続に使用する SCSI インターフェイスケーブルの長さの合計が異なります。

以下に表記してある長さは、SCSI 機器の内部配線および内蔵ケーブルを含みます。

#### UltraWide および Ultra SCSI 機器が 1 台でもある場合

接続台数	ケーブルの長さの合計
1 ~ 3 台	3 メートル以下
4 ~ 15 台	1.5 メートル以下

#### すべて FAST SCSI 機器の場合

接続台数	ケーブルの長さの合計
1 ~ 7 台	3 メートル以下

上記の記載項目はあくまで SCSI 規約に基づくものです。実際には、接続する SCSI 機器や SCSI ケーブルの性能に影響されます。

また、SCSI 変換コネクタを使用すると SCSI バスの状態が悪くなる場合があるため、SCSI 変換コネクタでの接続はお勧めしません。

### 2. Windows 98/95 インストール済みにて使用する

Windows 98/95 のインストール済みパソコンへ REX-PCI31 を取り付ける場合を説明します。添付の REX-PCI31 Windows98/95 用 SetupDisk を用意してください。

98

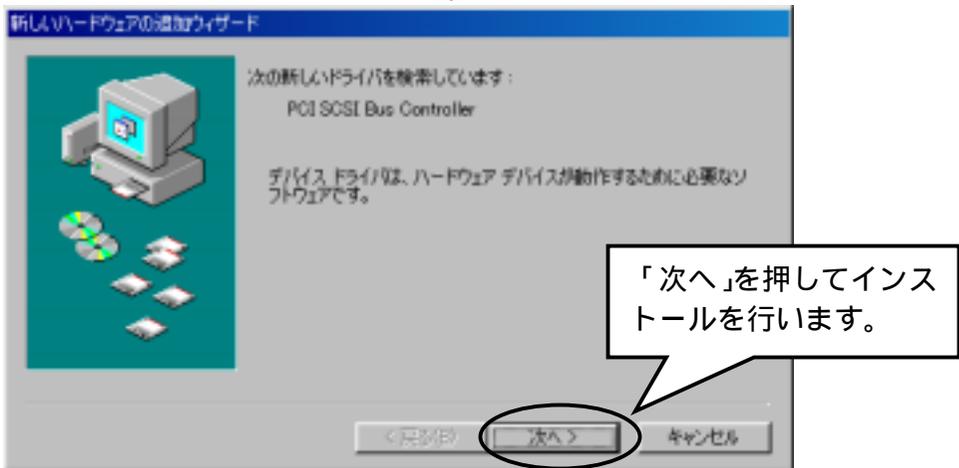
#### Windows 98 ミニポートドライバのインストール

REX-PCI31 を装着したあと SCSI ハードディスク等の SCSI 機器にアクセスするには Windows 98/95 のミニポートドライバの登録が必要になります。登録は以下の手順で行います。

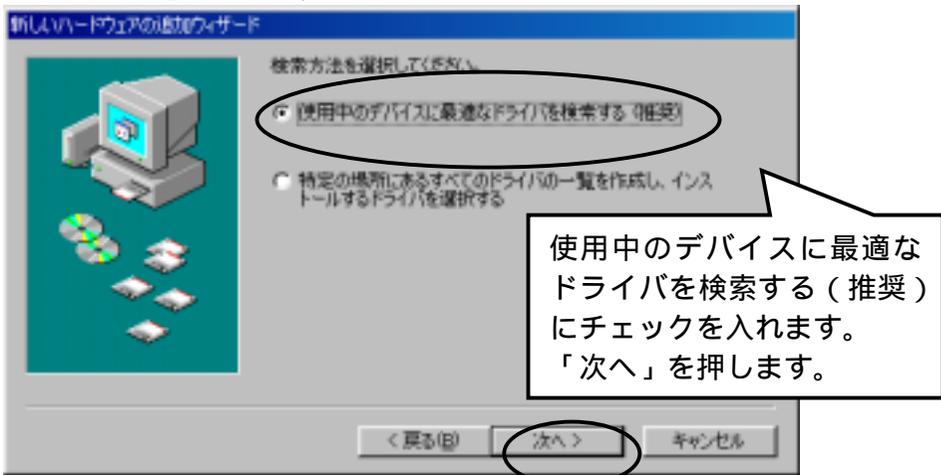
95

コントロールパネルの“ハードウェア”（ハードウェアウィザード）によるインストールを行っても、ドライバは正しく組み込まれません。

1. 以下のメッセージが表示されます。

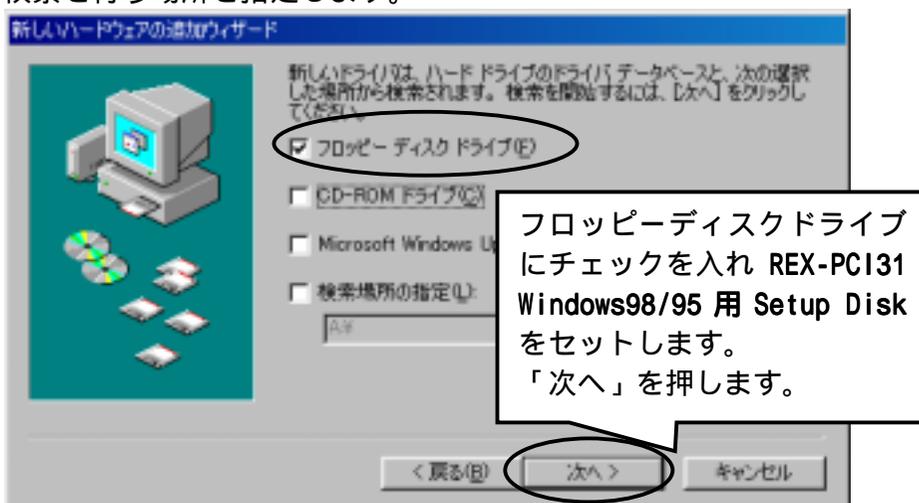


2. 検索方法を選択します。

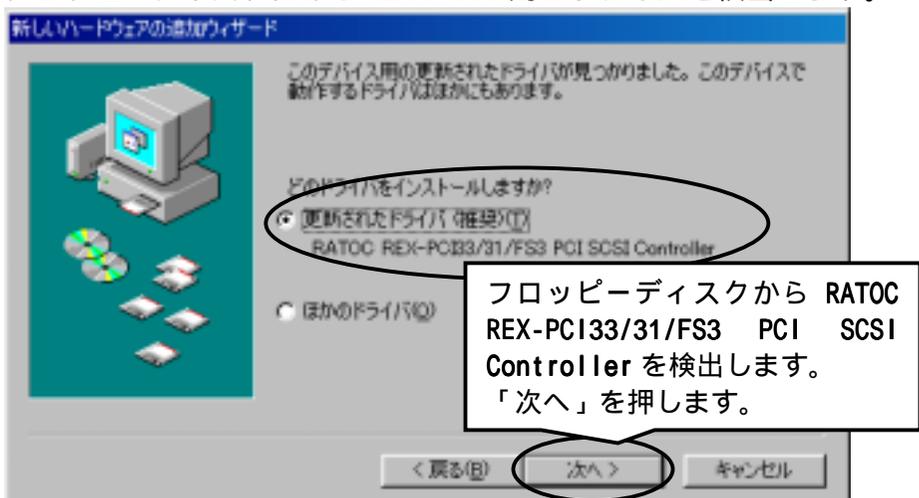


## 第2章 Windows 98/95 インストール済みにて使用する

3. 検索を行う場所を指定します。



4. フロッピーディスクにある REX-PCI31 用のドライバを検出します。



5. 正しく読み込まれると「準備ができました」のメッセージになります。



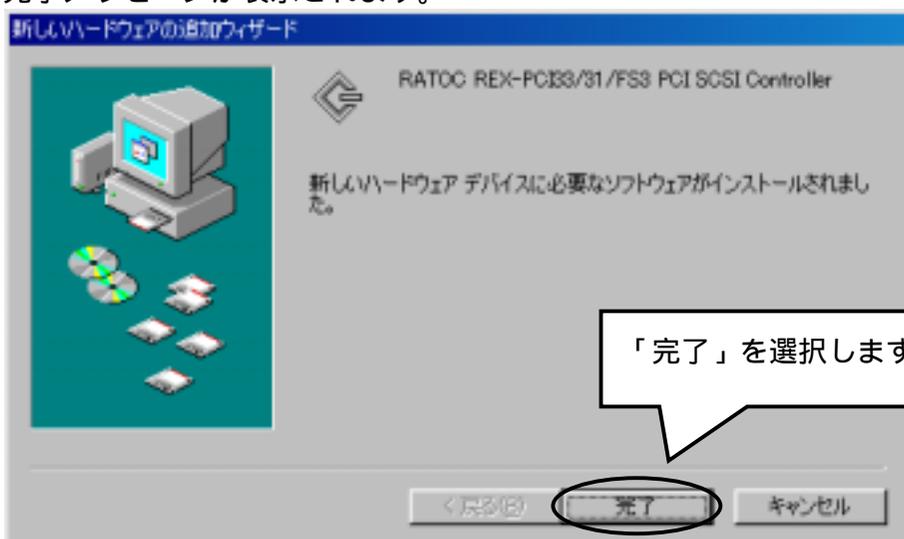


98

95

## 第2章 Windows 98/95 インストール済みにて使用する

### 6. 完了メッセージが表示されます。



新しいハードウェアの追加ウィザードの終了後、デバイスマネージャを終了して、REX-PCI31 Windows98/95 用 Setup Disk を抜きます。

そして、Windows のシステムを再起動します。

以上でインストールは終了です。次にインストールの確認を行います。

Windows 98/95 ミニポートドライバのインストール確認(P21)に進んでください。

98

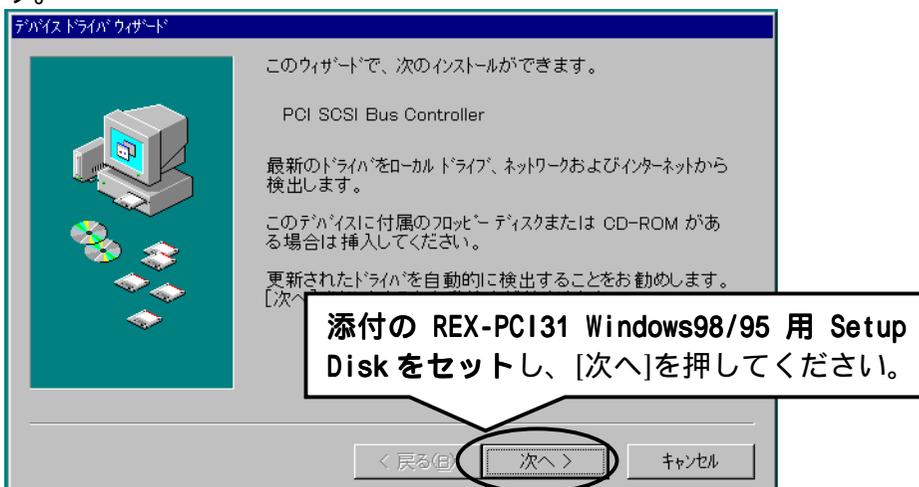
95

### Windows 95 ミニポートドライバのインストール

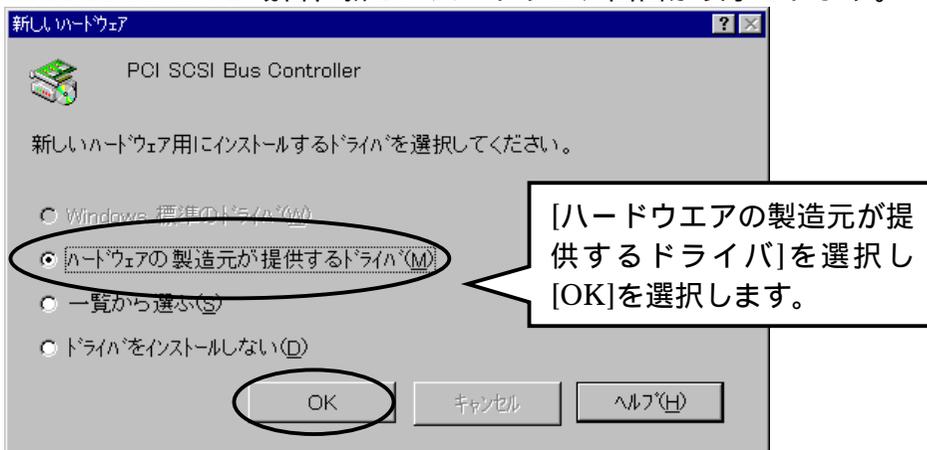
REX-PCI31 を装着したあと SCSI ハードディスク等の SCSI 機器にアクセスするには Windows 98/95 のミニポートドライバの登録が必要になります。登録は以下の手順で行います。

コントロールパネルの“ハードウェア”（ハードウェアウィザード）によるインストールを行っても、ドライバは正しく組み込まれません。

1. Windows 95B(OSR2)の場合、右のメッセージウインドウが表示されます。



2. Windows 95/95a の場合、新しいハードウェア画面が表示されます。



次にドライバディスクを指定する画面が表示されます。画面の説明に沿ってドライバをインストールしてください。以降、Windows 95B(OSR2)の場合で説明します。

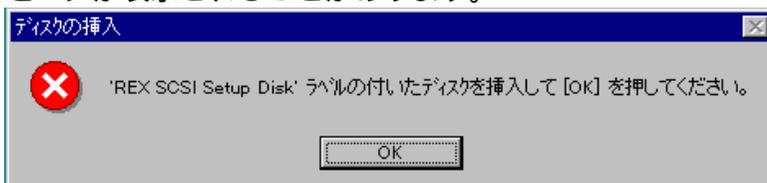
98

95

3. ドライバ発見の画面が表示されます。

[完了]を押してください。

4. 以前、何かのドライバの組み込みに失敗等があった場合、以下のメッセージが表示されることがあります。



[OK]を選択すると再度インストール画面が表示されます。

5. ドライバのコピー中にコピーするドライバが見つからなく、**REXPCI3X.MPD** が見つかりませんの画面が表示される場合があります。

「ファイルのコピー元」と同じ、フロッピーディスクドライブ名を入力してください。

「ファイルのコピー元」に“A:¥”と入力します。

6. コピーが終わってしばらくすると、システム再起動画面になります。

7. **REX-PCI31 Windows98/95 用 Setup Disk** を抜いてシステム再起動してください。

以上で Windows 95 ミニポートドライバのインストールは終わりです。

続いてインストールの確認を行います。

98

95

### Windows 98/95 ミニポートドライバのインストール確認

ドライバが正しくインストールされているかの確認は以下の手順で行います。

1. Windows 98/95 上から [コントロールパネル] の [システム] を開き、 [デバイスマネージャ] を選択します。
2. デバイスマネージャの「SCSI コントローラ」項目左のプラス記号(+) をクリックして、 [RATOC REX-PCI33/31/FS3 PCI SCSI Controller] が表示されていることを確認します。



3. 登録されていない場合は、次の確認をします。  
SCSI-BIOS スタート画面が表示されたか確認してください。(P13)  
表示されなかった場合、ボードの取り付けを確認してください。  
[RATOC REX-PCI33/31/FS3 PCI SCSI Controller]項目の先頭のアイコンに「!」「X」「?」表示があるか確認します。  
「!」「?」表示がある場合は、ドライバが正しくインストールされていません。  
「X」表示がある場合は、ドライバの動作を停止しています。

98

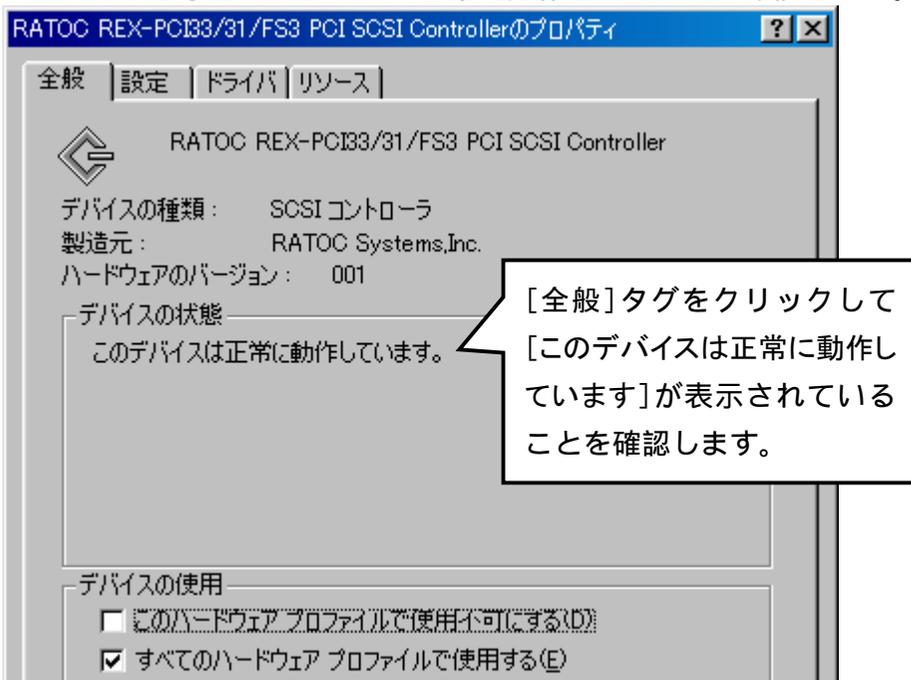
95

## 第2章 Windows 98/95 インストール済みにて使用する

4. [RATOC REX-PCI33/31/FS3 PCI SCSI Controller ]のプロパティウインドウを表示してドライバが正常に動作されているか確認します。

98

95



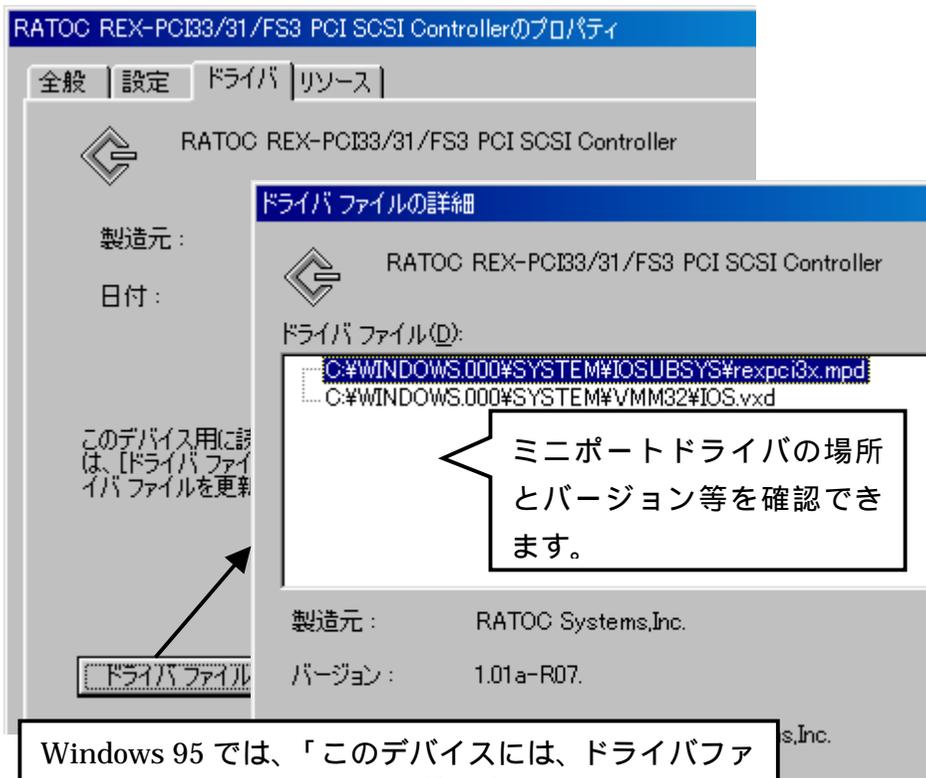
5. [設定] タグを押します。



## 第2章 Windows 98/95 インストール済みにて使用する

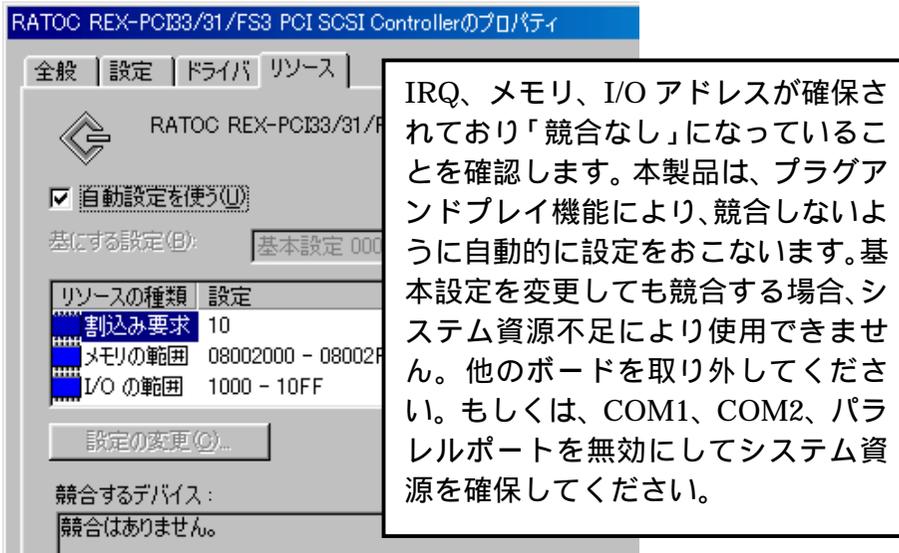
### 6. [ドライバ]のタグを押します。

Windows98 の場合、[ドライバファイルの詳細]ボタンを押してドライバのバージョンを確認します。



Windows 95 では、「このデバイスには、ドライバファイルが必要でないか、または読み込まれていません。」と表示されますが正常です。問題ありません。

### 7. [リソース]のタグを押します。



98

95

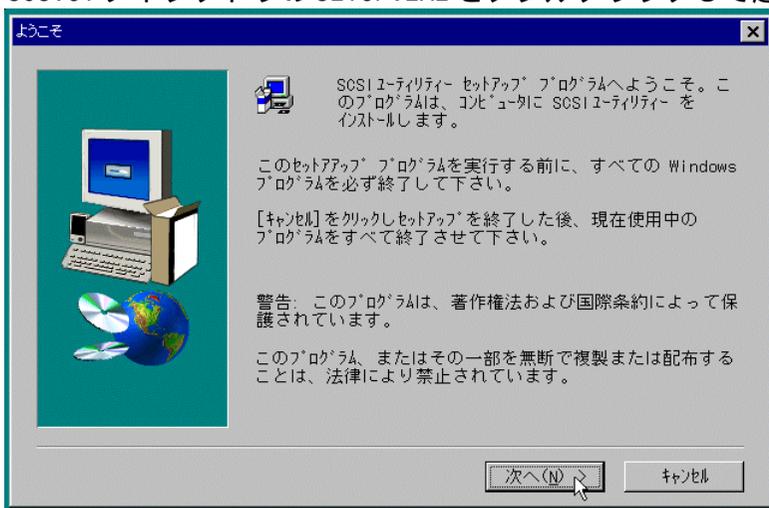
### SCSI ユーティリティのインストール

98

フォーマットユーティリティ ( REXFMT95.EXE )、SCSI 機器確認 ( WINSSC.EXE ) のインストールを行います。

95

1. 添付の REX-PCI31 Windows98/95 用 Setup Disk をフロッピーディスク装置にセットしデスクトップ画面の[マイコンピュータ]からフロッピーディスクのアイコンをダブルクリックします。
2. SCSIUT ディレクトリの SETUP.EXE をダブルクリックして起動します。



3. 画面の指示に従ってインストールを進めます。  
「Windows の再起動」の確認画面が表示されたら、REX-PCI31 Windows98/95 用 Setup Disk を抜きます。
4. SCSI ユーティリティのインストールが正常に終了すると[スタート] ボタンからのプログラムメニューの中に[SCSI ユーティリティ]が追加されています。

フォーマットユーティリティ ( REXFMT95.EXE ) とは :

HD, MO の WINASPI 対応フォーマッタです。

REX-PCI31 に接続された MO, PD をフォーマットする場合、本プログラムをお使いください。HD は FDISK プログラムをご使用ください。

詳しくは、フォーマットユーティリティ ( P26 ) を参照してください。

SCSI 機器確認 ( WINSSC.EXE ) とは :

REX-PCI31 に接続された SCSI 機器の接続状況、詳細情報を表示します。

SCSI 機器が接続されているか確認するとき、本プログラムをお使いください。詳しくは、SCSI 機器確認ユーティリティ ( P29 ) を参照してください。

SCSI コンフィギュレーションユーティリティ (SCUINICW.EXE) とは :  
REX-PCI31 の SCSI 構成情報を変更します。

特殊な設定が必要な SCSI 機器が接続されているとき、本プログラムをお使ください。詳しくは、SCSI コンフィギュレーション (P53) を参照してください。

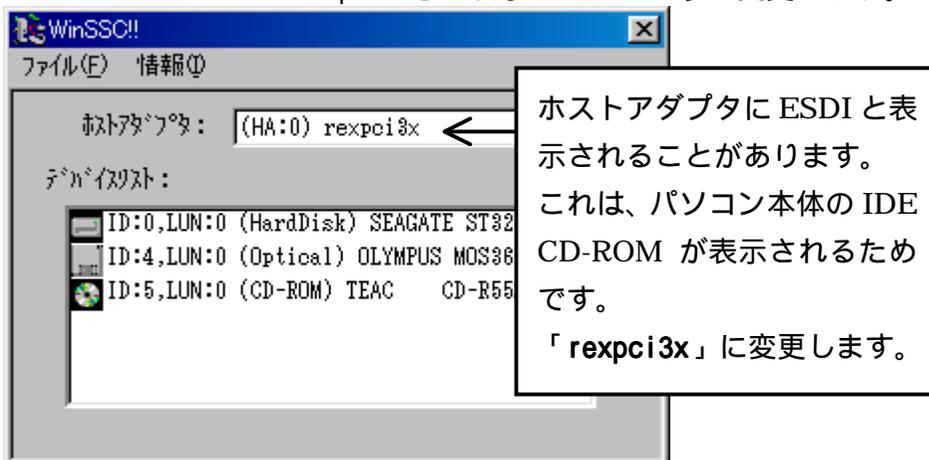
98

95

### SCSI 機器の確認

SCSI 機器を正しく認識しているかの確認は以下の手順で行います。  
まだ、SCSI 機器を接続していない場合、または電源が入っていない場合、SCSI 機器の接続を行い、電源をいれてパソコンの再起動をしてください。

1. SCSI 機器の接続確認をします。  
[スタート] [プログラム] [SCSI ユーティリティ] [SCSI 機器確認] を実行します。
2. ホストアダプタ : に「rexpci3x」と表示がされるように変更します。



例のように接続されている機器が表示されていれば、REX-PCI31 と SCSI 機器は完全に正しく動作しています。表示されない場合および「rexpci3x」に変更できない場合、「Windows98/95 用 SCSI 機器接続確認ユーティリティ」(P29) を参照してください。

3. HD/MO/CD-ROM を接続した場合、マイコンピュータにそれぞれのアイコンが表示されています。

### 3. Windows 98/95 での SCSI ユーティリティについて

この章では、添付の REX-PCI31 Windows98/95 用 Setup Disk に含まれるユーティリティソフトウェアについて説明していきます。

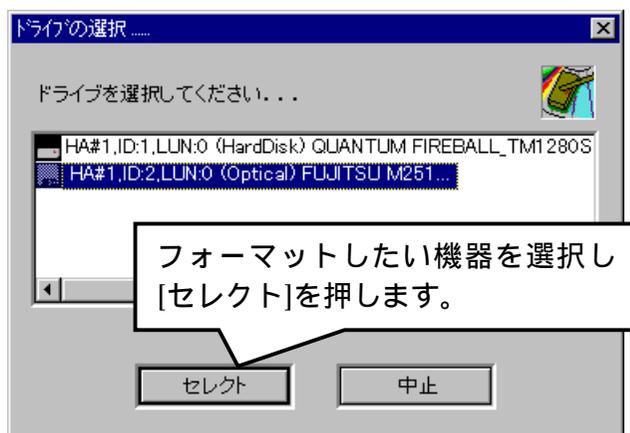
98

#### Windows 98/95 専用 SCSI フォーマットユーティリティ

95

REX-PCI31 に接続された SCSI 機器のフォーマットを行うには本プログラムをご使用ください。

1. [スタート]ボタンから表示される[プログラム]メニューの中にある[SCSI ユーティリティ]の[フォーマットユーティリティ]を起動します。次のように接続されている機器のインクアイリ情報がホストアダプタごとに表示されます。



対象とする SCSI 機器は、ハードディスク、MO、PD、リムーバブルディスクです。

CD-R/RW、DVD-RAM については、表示および選択できません。

## 第3章 Windows 98/95 での SCSI ユーティリティについて

2. 選択後、次の画面が表示されます。区画番号に対して右クリックで [メディアの初期化] を選択します。 [処理] タグの [メディアの初期化] を選択する方法もあります。



98

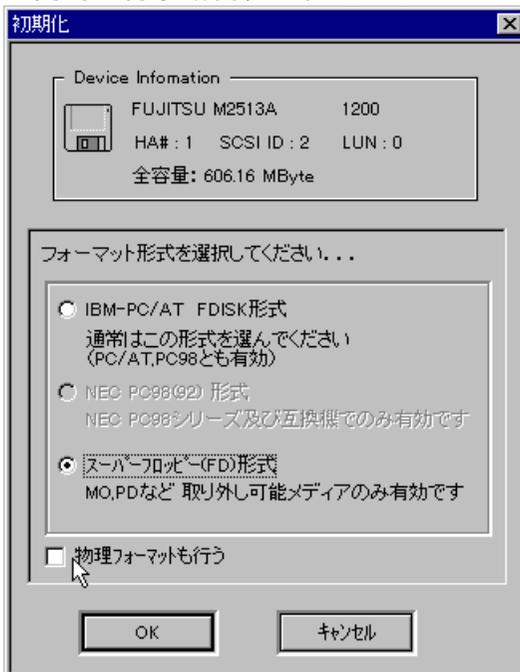
95

本プログラムの制限 :

本プログラムでフォーマットしたメディアは、Windows システムのクイックフォーマットは使用できなくなります。ロングフォーマットを使用しなければなりません。

DOS/V ブートディスクの作成はできません。ブートディスクを作成する場合は、FDISK および FORMAT コマンドをご使用ください。

3. 初期化の指定画面が表示されます。物理フォーマット (Low Level Format) を同時に行う場合、物理フォーマットも行うにチェックします。



この例では、640MB をフォーマットしますので、[スーパーフロッピー形式] を選択します。

## 第3章 Windows 98/95 での SCSI ユーティリティについて

4. フォーマット後、区画をどのように設定するかを指定します。

98

95



本プログラムは FAT32 をサポートしていますのでファイルシステムにて FAT32 を選択することが可能です。

ただし、FAT32 を選択すると、FAT32 をサポートしている OS でのみアクセスが可能です。Windows 98、Windows95B(OSR2)以降および Windows 2000 でのみサポートしています。

DOS/Windows3.1, WindowsNT からは読み書きできなくなりますのでご注意ください。

5. フォーマット完了後、システムを再起動してください。

### Windows 98/95 用 SCSI 機器接続確認ユーティリティ

SCSI ボードに接続されている SCSI 機器を Windows 98/95 上から確認するためのユーティリティです。必ずパソコン起動前に、SCSI 機器の電源を入れてください。

[スタート]ボタンから表示される [プログラム] メニューの中にある [SCSI ユーティリティ] の [SCSI 機器確認] を起動します。



#### [ホストアダプタ:]

接続されている SCSI インターフェイスの情報が表示されます。

CD-ROM ドライブを内蔵しているパソコンでは、ここの覧を [ rexpci3x ] が表示されるように変更してください。

「 rexpci3x 」と表示されないまたは変更できない場合、以下の原因が考えられます。

- REX-PCI31 のドライバが正しく動作していない。
- SCSI ケーブルが正しく接続されていない。(断線の可能性)
- SCSI 機器の電源が入っていない またはターミネータの設定がされていない。
- SCSI 機器の接続台数が多すぎる。

#### [デバイスリスト:]

接続されている SCSI 機器の情報の一覧です。左から順に以下の項目が表示されます。

- SCSI 機器 ID 番号 ( ID: )
- ロジカルユニット番号 ( LUN: )
- デバイスタイプ (カッコ内)
- ベンダ名および型番

#### [再スキャン]

[ファイル]メニューの[再スキャン]は、最新情報を表示させるための機能です。

98

95

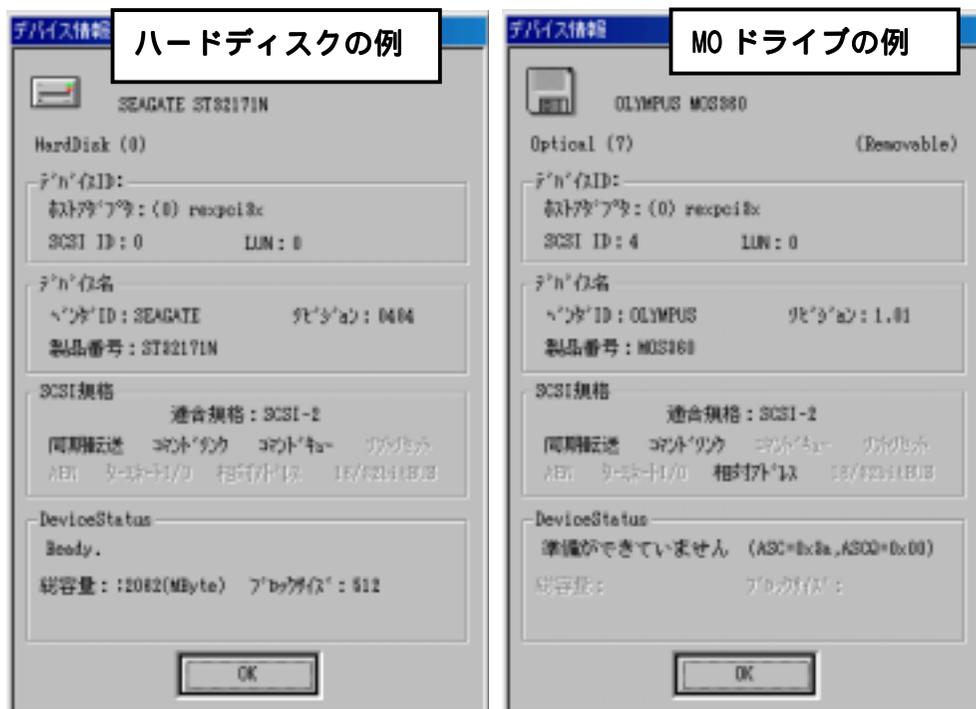
## 第3章 Windows 98/95 での SCSI ユーティリティについて

また、情報を確認したい機器の行を選択してダブルクリックすると詳細情報が表示されます。

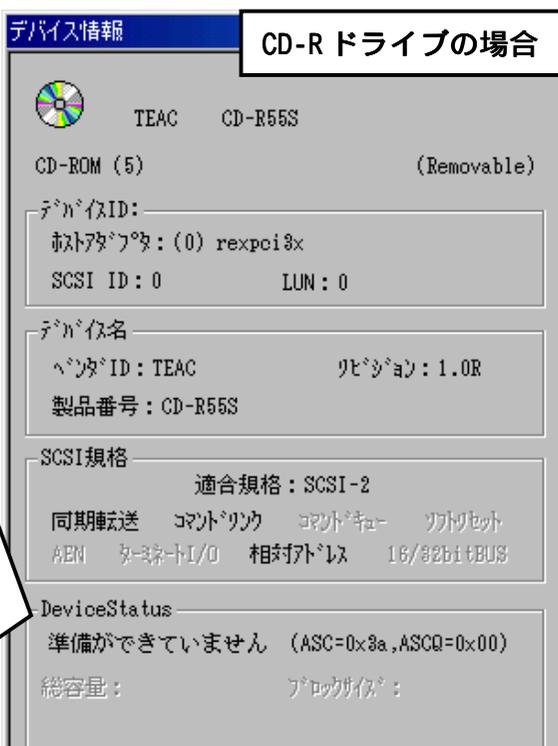
### SCSI 機器の詳細情報の例

98

95



Device Status の欄に「準備ができていません」と表示されますが、CD-ROM、CD-R、リムーバブルディスク等では、メディアが挿入されていない場合も「準備ができていません」と表示されます。また、CD-R/RW でデータが書き込まれていないブランクのメディアが挿入されている場合も「準備ができていません」と表示されます。これで正常な状態です。



### 4. 起動ディスク(DOS)での使用について

この章では、Windows 98 起動ディスク(フロッピーディスク)または Windows 95 起動ディスク(フロッピーディスク)よりシステム起動して REX-PCI31 に接続した SCSI CD-ROM をアクセスする方法について説明します。

SCSI CD-ROM をアクセスできるようになったあと Windows 98/95 の CD-ROM より SETUP.EXE の起動が可能となり Windows 98/95 のインストールを行えます。

#### Windows 98 起動ディスクの編集

Windows 98 の起動ディスクより、REX-PCI31 に接続してある SCSI CD-ROM より Windows 98 をインストールしたい場合、次の様に行います。

Windows 98 の起動ディスクの初期メニューで”Start computer with CD-ROM support”が選択できますが、そのままでは SCSI CD-ROM をアクセスできません。この CD-ROM は IDE の CD-ROM を示します。SCSI CD-ROM からのインストールの場合以下の手順で編集が必要です。

1. Windows 98 の起動ディスク(1/2)の CONFIG.SYS を編集してください。

変更前：

[CD]

device=himem.sys /testmem:off

device=oakcdrom.sys /D:mscd001

device=btosm.sys

device=flashpt.sys

device=btcdrom.sys /D:mscd001

device=aspi2dos.sys - > 行削除

device=aspi8dos.sys - > 行削除

device=aspi4dos.sys - > **device=ASP850.SYS /D**

device=aspi8u2.sys - > 行削除

device=aspicd.sys /D:mscd00 - > **device=REXCD.SYS /D:mscd001**

2. Windows 98 の起動ディスク(1/2)の aspi2dos.sys, aspi8dos.sys, aspi4dos.sys, aspi8u2.sys を削除します。

3. REX-PCI31 の REX-PCI31 Windows98/95 用 Setup Disk の DOS ディレクトリより ASP850.SYS と REXCD.SYS を、Windows 98 の起動ディスク(1/2) にコピーします。

4. Windows 98 の起動ディスク(1/2)よりシステム起動し、Start computer with CD-ROM support を選択します。

以降、SCSI CD-ROM が割り当てられますので、そこから SETUP を行います。

## 第 4 章 起動ディスク(DOS)での使用について

### Windows 95 起動ディスクの編集

Windows 95 の起動ディスクより、REX-PCI31 に接続してある SCSI CD-ROM より Windows 95 をインストールしたい場合、次の様に行います。

Windows 95 の起動ディスクのままでは、SCSI CD-ROM をアクセスできません。

1. Windows 95 の起動ディスクの CONFIG.SYS を編集してください。

変更前：

```
DEVICE=HIMEM.SYS
BUFFERS=20
FILES=60
DEVICE=BILING.SYS
DEVICE=JFONT.SYS /MSG=OFF
DEVICE=JDISP.SYS /HS=LC
DEVICE=JKEYB.SYS
```

変更後：

```
                挿入      - >  DEVICE=ASP850.SYS /D
                挿入      - >  DEVICE=REXCD.SYS /D:OEMCD001
REM      DEVICE=SAMPLE.SYS /D:OEMCD001
LASTDRIVE=Z
```

2. Windows 95 の起動ディスクの AUTOEXEC.BAT に次の記述があることを確認してください。

```
@echo off
```

```
PROMPT $P$G
```

```
MSCDEX.EXE /D:OEMCD001    (この記述があることを確認)
```

3. Windows 95 の起動ディスクの SAMPLE.SYS を削除します。
4. REX-PCI31 の REX-PCI31 Windows98/95 用 Setup Disk の DOS ディレクトリより ASP850.SYS と REXCD.SYS を、Windows 95 の起動ディスクにコピーします。
5. Windows 95 の起動ディスクよりシステム起動します。  
以降、SCSI CD-ROM が割り当てられますので、そこから SETUP を行います。

### Drive Image 起動ディスクの編集

Drive Image にて使用する MO (光磁気ディスク) 等を起動ディスクから認識できるようにします。

ドライブイメージソフトウェアの起動ディスク(1/2)の CONFIG.SYS を編集してください。CONFIG.SYS の内容は次のようになっています。追加部を書き加えます。

LASTDRIVE=Z

REM Put Network or CD-ROM Drivers here.

DEVICE=ASP850.SYS /D (ASPI Manager) 追加

DEVICE=REXDISK.SYS /E /REMOVABLE (DISK ドライバ) 追加

ASP850.SYS、REXDISK.SYS は、本製品添付の REX-PC131 Windows98/95 用 Setup Disk よりコピーしてください。

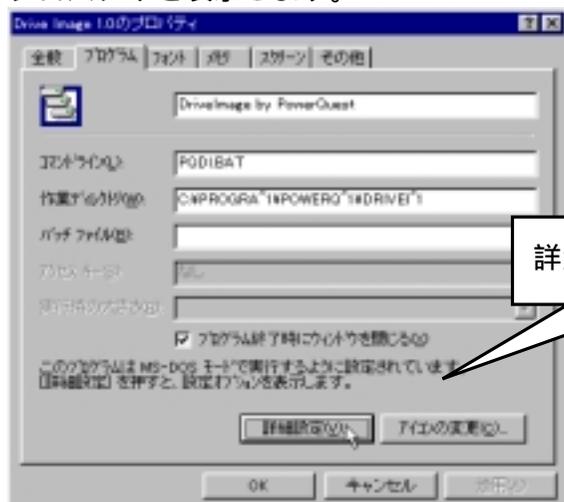
REXDISK.SYS が実行されると、MO / ハードディスク等にドライブ名を割り当てます。

ドライブイメージのリストア時に、このドライブ名を指定します。

また、MO 等リムーバブル等へバックアップする場合は、REXDISK.SYS 行に /REMOVABLE オプションを追加してください。

Windows 98/95 の Drive Image アイコン起動で、MO 等を認識させるには、以下の場所にある CONFIG.SYS を上記のように修正する必要があります。

[スタート] より右クリックし [開く] を選択し Drive Image のアイコンのプロパティを表示します。



## 第 4 章 起動ディスク(DOS)での使用について

詳細設定を押すと右の画面が出てきますので、**新しいMS-DOS用設定を指定する**を選択し MS-DOS モード用 CONFIG.SYS ファイルを編集します。



Dos

例のように追加します。

```
DEVICE=ASP850.SYS /D (ASPI Manager) 追加  
DEVICE=REXDISK.SYS /E /REMOVABLE (DISK ドライバ) 追加
```

PCI31 ディレクトリを作成し、ASP850.SYS と REXDISK.SYS をコピーします。Drive Image アイコンをクリックするだけで、Drive Image から REXDISK.SYS の割り当てたドライブ名が使用できます。

### SCSI CD-ROM をアクセスする

CONFIG.SYS に ASPI マネージャの登録を行います。

CONFIG.SYS の最終行に、以下の記述を追加します。

```
DEVICE=ASP850.SYS /D (ASPI Manager)  
DEVICE=REXCD.SYS /D:PCMCIA CD (CD-ROM ドライバ)
```

の 2 行を追加します。

AUTOEXEC.BAT の最終行に、以下の記述を追加します。

```
A::\DOS\MSCDEX /D:PCMCIA CD (CD-ROM Extension)
```

の 1 行を追加します。

ASP850.SYS、REXCD.SYS は、本製品添付の REX-PCI31 Windows98/95 用 Setup Disk よりコピーしてください。MSCDEX は、MS-DOS 6.2 以降の OS よりコピーしてください。

REXCD.SYS が実行されると、デバイス名 PCMCIA CD を登録します。

MSCDEX.EXE が実行されると、デバイス名 PCMCIA CD を探しそのドライブにドライブ名を割り当てます。AUTOEXEC.BAT の中に既に MSCDEX の記述がある場合がありますのでそこは削除します。

DVD の CD-ROM のみをアクセスする場合も上記の方法で使用可能です。

## 第 4 章 起動ディスク(DOS)での使用について

### SCSI DVD-RAM をアクセスする

Panasonic DVD LF-100J においては MS-DOS をサポートしてありますので以下の方法で使用できます。

CONFIG.SYS に ASPI マネージャの登録を行います。

CONFIG.SYS の最終行に、以下の記述を追加します。

```
DEVICE=ASP850.SYS /D (ASPI Manager)
DEVICE=DVDHOOK.EXE (DVD Emuration ドライバ)
DEVICE=MSDRVR.SYS -ot3 -ob -th- -L -o2k (DISK ドライバ)
DEVICE=MCDPD.SYS /D:OEMCD001 /T3 (PD/CD ドライバ)
```

の 4 行を追加します。

ASP850.SYS は、添付の Setup Disk1 よりコピーしてください。

DVDHOOK.EXE、MSDRVR.SYS、MCDPD.SYS は、DVD に添付 (CD-ROM) の DOS 用ドライバからコピーしてください。

MSDRVR.SYS が実行されると、DVD-RAM にドライブ名を割り当てます。

Dos

### REXCD.SYS のパラメタ

ASPI マネージャ対応の DOS 上で動作する CD-ROM デバイスドライバです。

#### REXCD.SYS の書式

```
DEVICE=<ディレクトリパス>*REXCD.SYS [/D:<デバイス名>] [/U:1]
        [/ScanID:id+id+....] [/NoScanID:id+id+....] [/N:1]
        [/E] [/HA:0]
```

#### オプション

/D:<デバイス名>

この CD-ROM デバイスに付けるデバイス名を指定します。

/U:1 接続する CD-ROM ドライブが 1 台だけの場合の指定です。

/ScanID:id+id+....

REXCD.SYS が対象とする CD-ROM ドライブの SCSI-ID 番号を指定します。

/NoScanID:id+id+....

先の「/ScanID」オプションと反対に REXCD.SYS の対象外とする SCSI-ID 番号を指定します。

/N:1

接続する CD-ROM ドライブに対してロジカルユニットの検索を行いません。

/E ドライブの表示メッセージを英語にします。

/HA:0 対象とするホストアダプタの番号を指定します。

## 第4章 起動ディスク(DOS)での使用について

### オプション

/D:<デバイス名>

この CD-ROM デバイスに付けるデバイス名を指定します。

/U:1 接続する CD-ROM ドライブが1台だけの場合の指定です。

/ScanID:id+id+....

REXCD.SYS が対象とする CD-ROM ドライブの SCSI-ID 番号を指定します。

/NoScanID:id+id+....

先の「/ScanID」オプションと反対に REXCD.SYS の対象外とする SCSI-ID 番号を指定します。

/N:1

接続する CD-ROM ドライブに対してロジカルユニットの検索を行いません。

/E ドライバの表示メッセージを英語にします。

/HA:0 対象とするホストアダプタの番号を指定します。

### REXDISK.SYS のパラメタ

ASPI マネージャ対応の DOS 上で動作するハードディスク/光磁気ディスク用デバイスドライバです。REXDISKW.SYS は、SCSI-ID 番号が 8~15 の WideSCSI 機器が接続されている場合に使用します。

### REXDISK.SYS の書式

```
DEVICE=<ディレクトリパス>*REXDISK.SYS [/Rn1+n2+n3+....] [/E]
[/LOCK | /UNLOCK] [/REMOVABLE] [/ScanID:id+id+....]
[/NoScanID:id+id+....] [/HA:0]
```

### オプション

/E ドライバの表示メッセージを英語にします。

/HA:0 対象とするホストアダプタの番号を指定します。

/Rn1+n2+n3+....

光磁気ディスク(M0)等の取り外し可能なメディア用の予約パーティション数を指定します。

/LOCK

/UNLOCK

光磁気ディスク(M0)等の取り外し可能なメディア用のドアのロック/アンロックを指定します。

/LOCK	ドライブのイジェクト・スイッチを押してもメディアは排出されません。
-------	-----------------------------------

## 第 4 章 起動ディスク(DOS)での使用について

---

/UNLOCK	ドライブのイジェクト・スイッチを押すとメディアは排出されます。
---------	---------------------------------

/REMOVABLE

光磁気ディスク(MO)が Windows 3.1 のファイルマネージャ等におけるドライブのアイコン表示でフロッピーディスクと同様の取り外し可能なメディアのアイコンで表示されるようにします。

/ScanID:id+id+....

REXDISK.SYS が対象とするハードディスク / 光磁気ディスクドライブの SCSI-ID 番号を指定します。

/NoScanID:id+id+....

先の「/ScanID」オプションと反対に REXDISK.SYS の対象外とする SCSI-ID 番号を指定します。

/Nostart

Start Unit の SCSI コマンドを発行しない場合に指定します。

Dos

### 5.Windows 2000 での REX-PCI31 のインストール

ここでは REX-PCI31 UltraWide SCSI PCI Board を Windows 2000 上で使用するためのドライバ組み込み手順を説明しています。

REX-PCI31 Windows 2000 Setup Disk を用意してください。

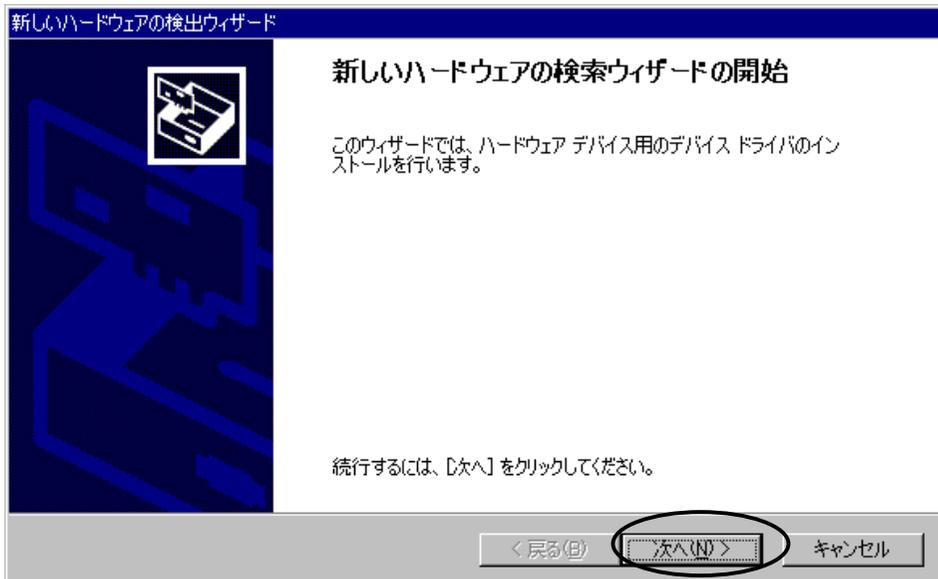
#### 新しいハードウェアの検索ウィザード

REX-PCI31 を装着して Windows2000 がインストールされたパソコンを起動すると作業が自動的に開始されます。以前にインストールを行ったが、途中で失敗し再度新たにインストールを行いたい場合、トラブルシューティングの「REX-PCI31 ドライバの完全削除するには」の項目 ( P71 )を行ってください。

Windows 2000 へ Administrator のユーザ権限を持つユーザでログインします。

1. 新しいハードウェアを追加するための画面が表示されます。

新しいハードウェアの追加ウィザードが起動され REX-PCI31 を以下のように認識します。

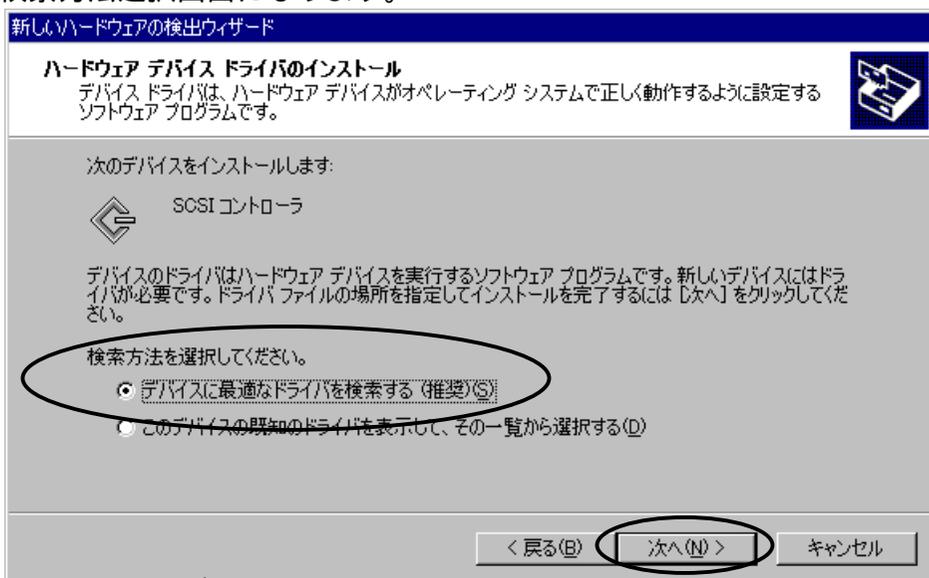


ここで REX-PCI31 Windows 2000 Setup Disk をフロッピーディスクドライブにセットし「次へ」を選択します。  
自動的にフロッピーディスクから設定用ファイルを読み込みます。

Win  
2000

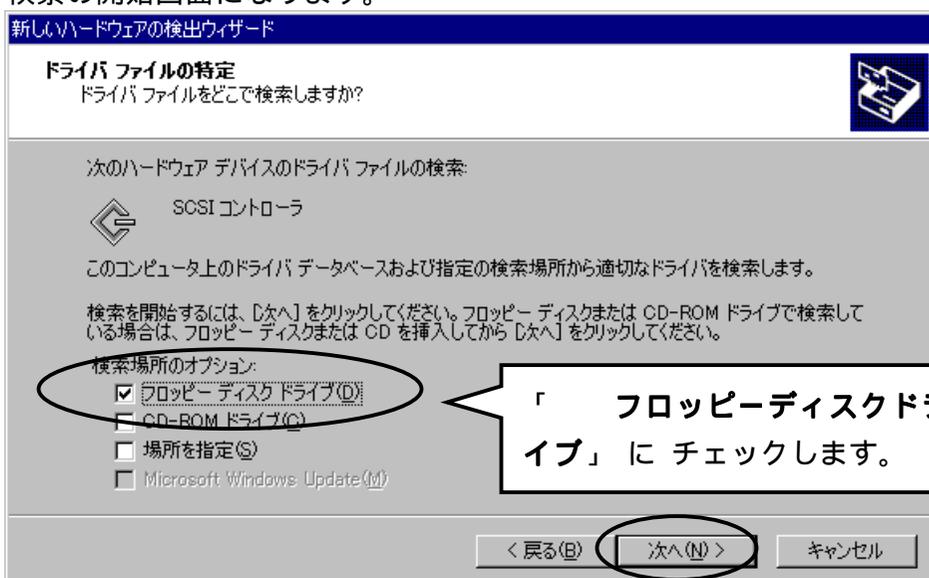
## 第 5 章 Windows 2000 での REX-PCI31 のインストール

### 2. 検索方法選択画面になります。



「デバイスに最適なドライバを検索する (推奨)」を選択します。  
そして、「次へ」を選択してください。

### 3. 検索の開始画面になります。

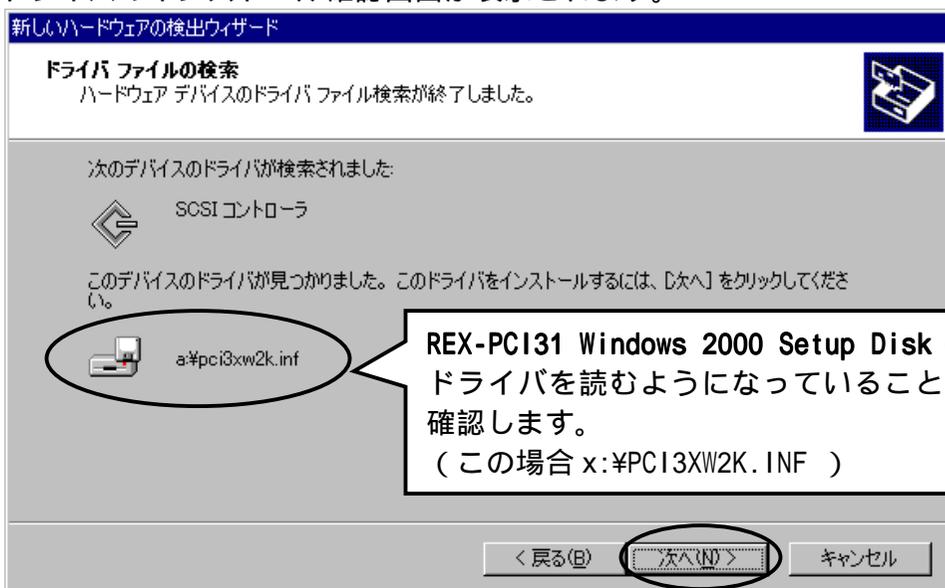


「フロッピーディスクドライバ」にチェックします。

Win  
2000

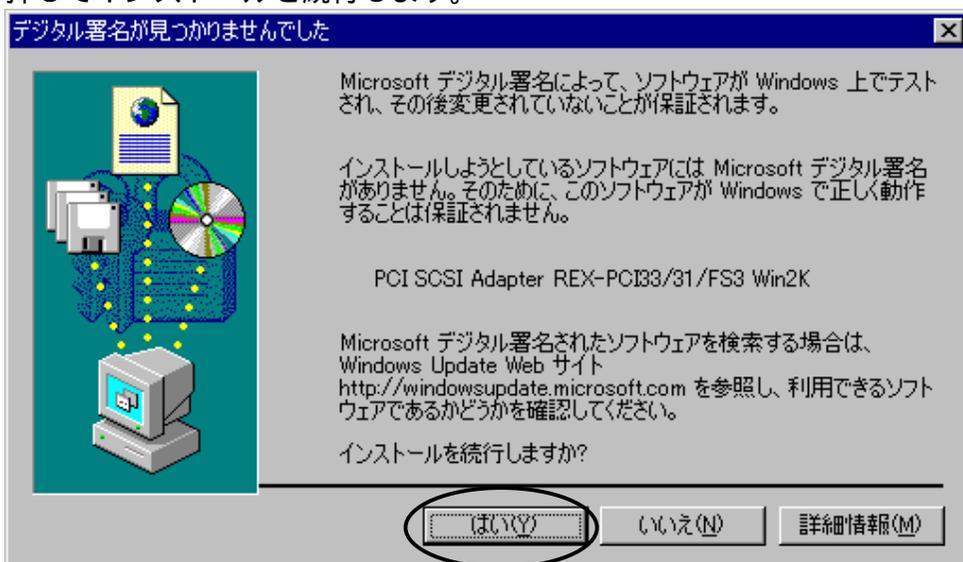
## 第 5 章 Windows 2000 での REX-PCI31 のインストール

4. ドライバのインストール確認画面が表示されます。



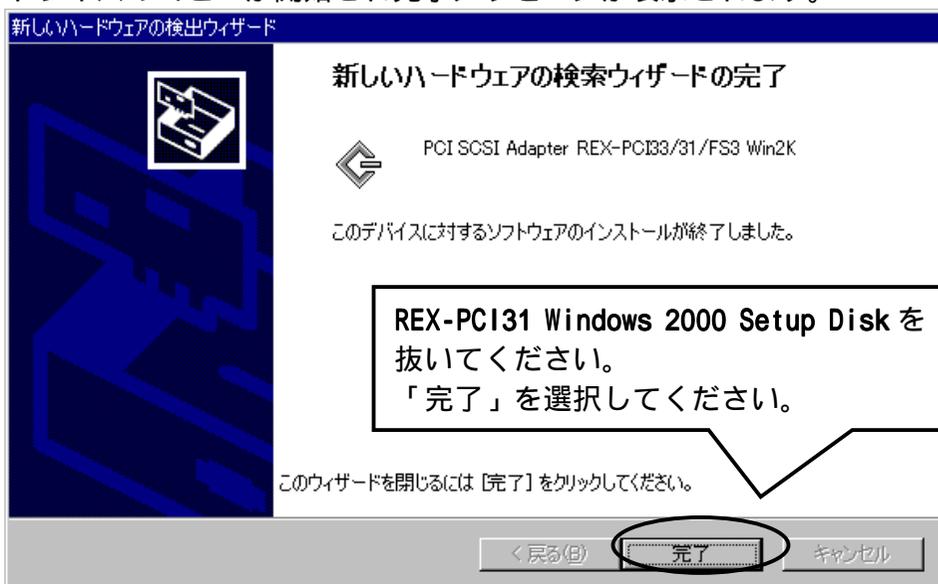
Win  
2000

5. 「デジタル署名がありません」と表示されますが、そのまま [はい] を押してインストールを続行します。



## 第 5 章 Windows 2000 での REX-PCI31 のインストール

6. ドライバのコピーが開始され完了メッセージが表示されます。



Win  
2000

### ドライバインストールの確認

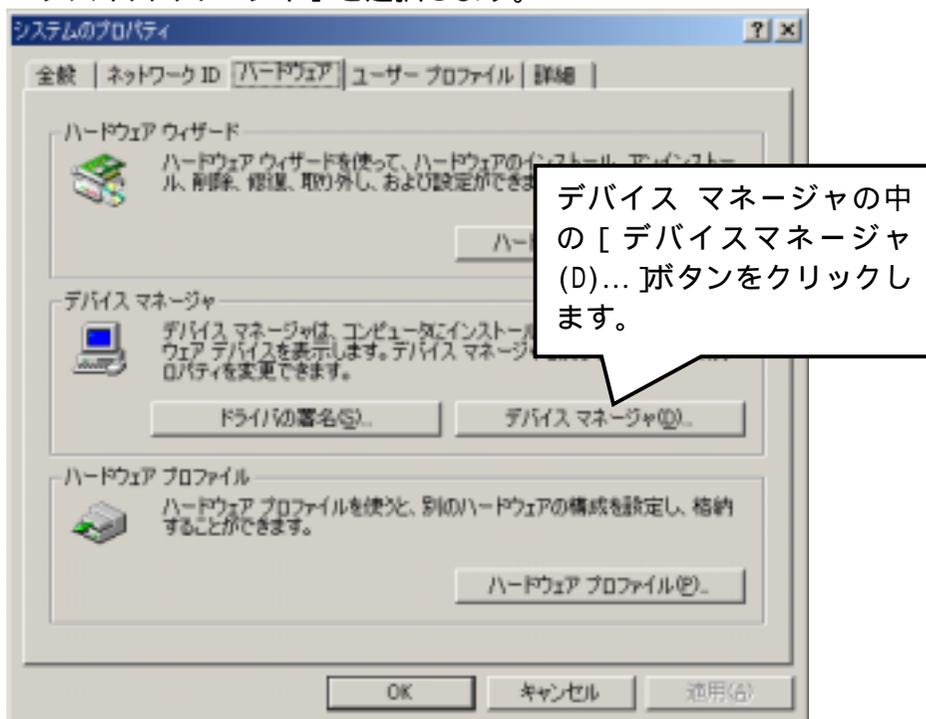
ドライバのインストールが正常に行われ動作しているかの確認を行います。ここでの確認は、パソコン上で REX-PCI31 が正しく動作しているかの確認になります。

1. コントロールパネルのシステムを開きます。



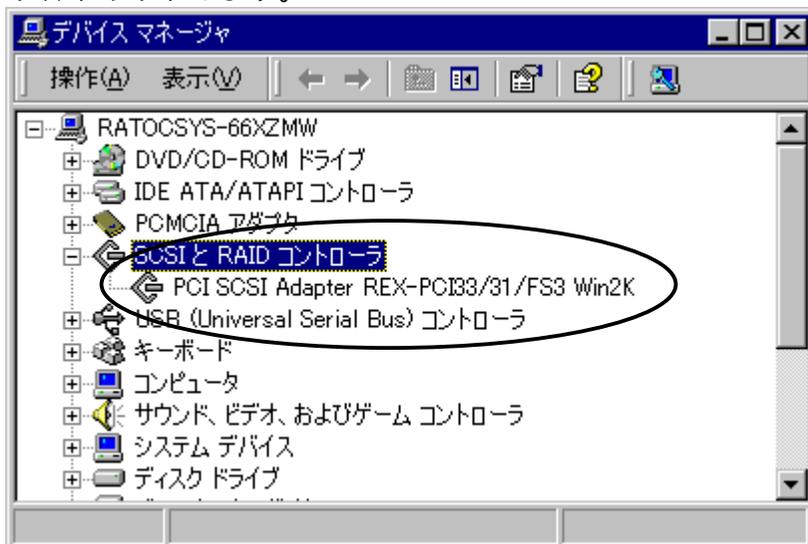
## 第 5 章 Windows 2000 での REX-PCI31 のインストール

2. 「デバイスマネージャ」を選択します。



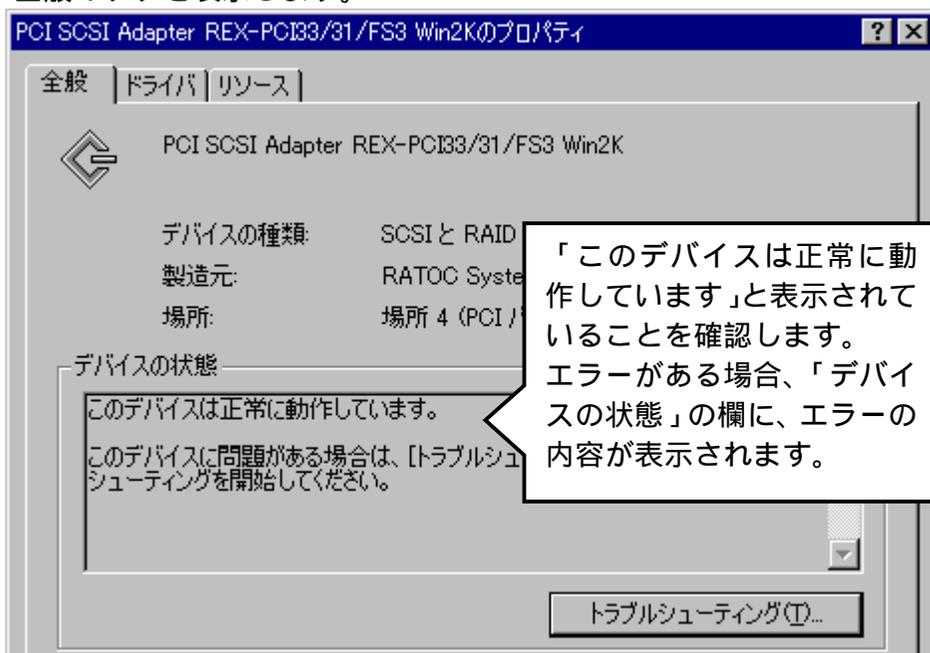
Win  
2000

3. [ SCSI と RAID コントローラ ] をダブルクリックし [ PCI SCSI Adapter REX-PCI33/31/FS3 Win2K ] と表示されていることを確認して、さらにダブルクリックします。

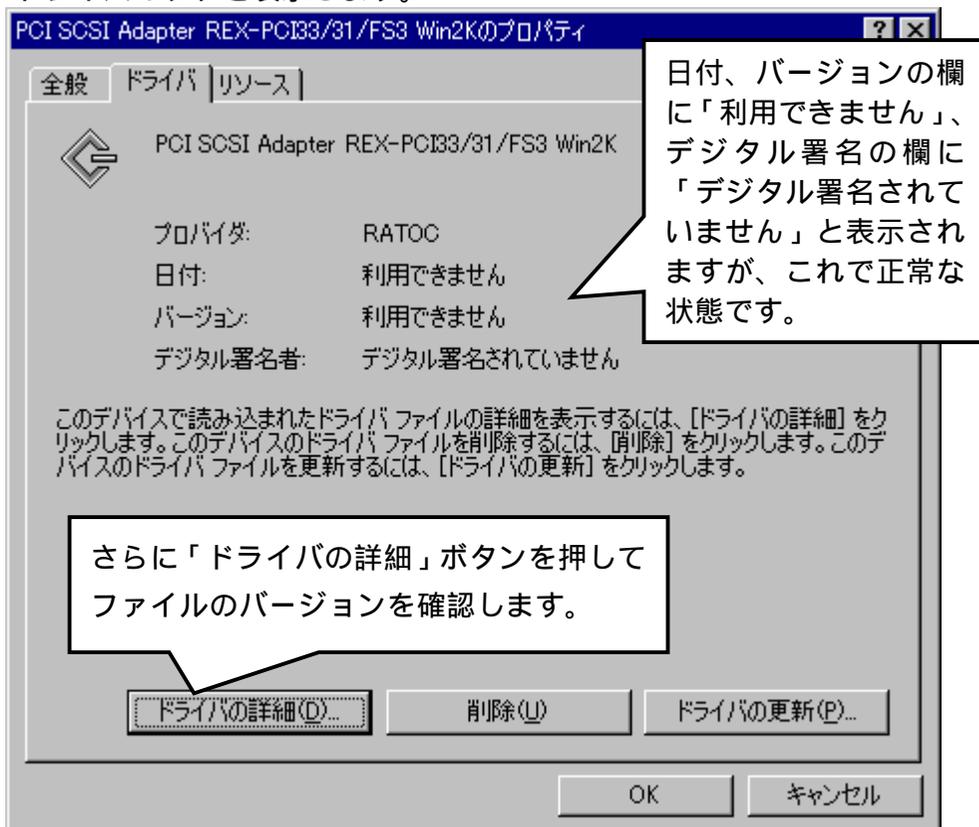


## 第 5 章 Windows 2000 での REX-PCI31 のインストール

### 4. 全般のタグを表示します。



### 5. ドライバのタグを表示します。

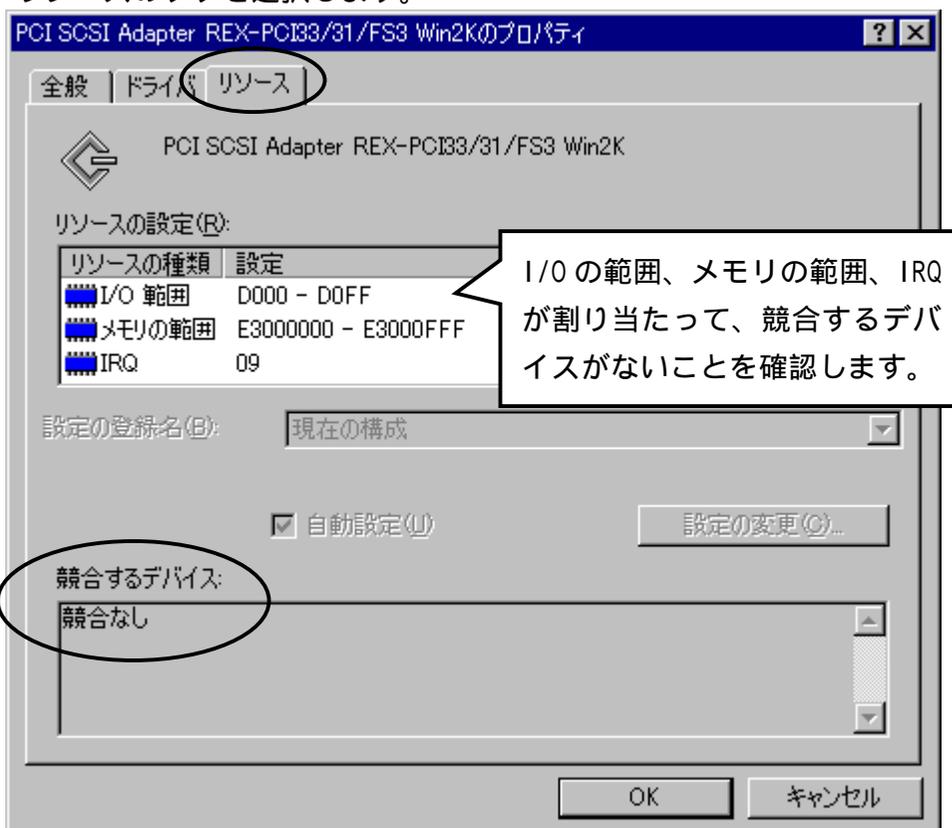


## 第5章 Windows 2000 での REX-PCI31 のインストール

### 6. ドライバの詳細



### 7. リソースのタグを選択します。



### SCSI ユーティリティのインストール

SCSI コンフィギュレーション(SCUINICN.EXE)のインストールを行います。

1. REX-PCI31 Windows 2000 Setup Disk をフロッピーディスク装置にセットしデスクトップ画面の[マイコンピュータ]からフロッピーディスクのアイコンをダブルクリックします。
2. SCSIUT ディレクトリの SETUP.EXE をダブルクリックして起動します。



3. 画面の指示に従ってインストールを進めます。  
「Windows の再起動」の確認画面が表示されたら、**Setup Disk を抜きます。**
4. インストールが正常に終了すると[スタート]ボタンからのプログラムメニューの中に [SCSI Utility] [SCSI Configuration] が追加されています。

SCSI コンフィギュレーションユーティリティ ( SCUINICN.EXE ) とは :  
REX-PCI33 の SCSI 構成情報を変更します。

特殊な設定が必要な SCSI 機器が接続されているとき、本プログラムをお使いください。 SCSI コンフィギュレーション ( P53 ) の説明を参照してください。

Win  
2000

### WNASPI32.DLL の組み込み (オプション)

ここでの作業は必ずしも必要ではありません。必要な場合に限り行ってください。

Windows 2000 上でのイメージスキャナ、フィルムスキャナの使用で 32 ビット版 ASPI マネージャ ( WNASPI32 または WINASPI32 ) が必要となるスキャナソフトがあります。

32 ビット版 ASPI マネージャがスキャナに添付のソフトウェアに含まれていない場合や、スキャナメーカーから提供されていない場合に限り、本製品添付の REX-PCI31 Windows 2000 用 Setup Disk に含まれる 32 ビット版 ASPI マネージャ ( WNASPI32.DLL ) を組み込んでください。

CD-R/RW 用書き込みソフトも 32 ビット版 ASPI を必要としますが、書き込みソフトのインストールと同時に 32 ビット版 ASPI がインストールされますのでそちらをお使いください。

Win  
2000

### WNASPI32 のインストール方法

Windows 2000 を Administrator のユーザ権限のあるユーザで開始します。

1. REX-PCI31 Windows 2000 用 Setup Disk をフロッピーディスク装置にセットしデスクトップ画面の [ マイコンピュータ ] からフロッピーディスクのアイコンをダブルクリックします。
2. [ ASPI32 ] ディレクトリを開きます。
3. [ WNASPI32 ] または [ WNASPI32.INF ] ファイルを選択してマウスの右クリックメニューを表示させます。
4. 表示されたメニューの [ インストール ] を選択実行するとファイルがコピーされインストールが終了します。
5. REX-PCI31 Windows 2000 用 Setup Disk を抜いて、Windows 2000 を再起動します。

上記手順でインストールができない場合は、[ ASPI32 ] ディレクトリにある [ WNASPI32.DLL ] ファイルを Windows 2000 のシステムディレクトリ ( 通常は、Winnt¥system32 ディレクトリ ) へコピーして Windows 2000 を再起動してください。

### WNASPI32 のアンインストール方法

1. コントロールパネルの [ アプリケーションの追加と削除 ] を起動します。
2. [ RATOC WinASPI32 for Windows 2000/NT4.0 ] を選択します。
3. [ 変更 / 削除 (C) ] ボタンを押すと WNASPI32.DLL が削除されます。



Win  
2000

### 6. Windows NT インストール済みにて使用する

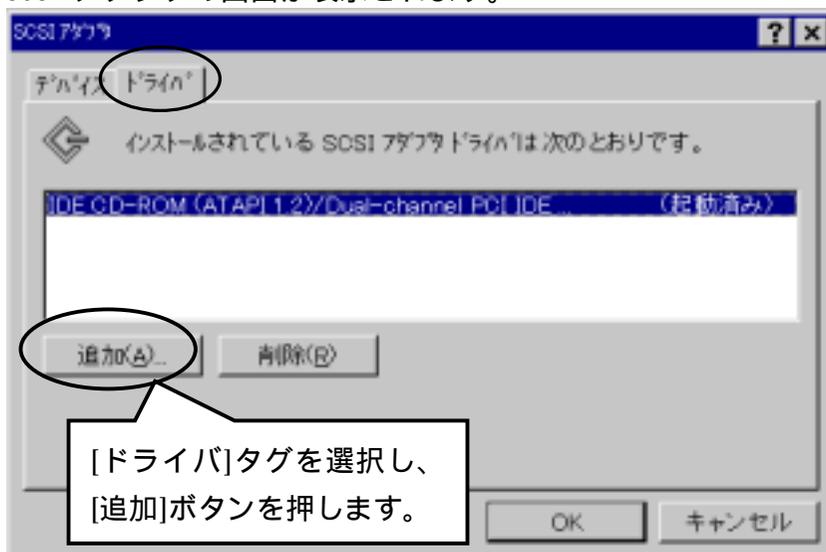
Windows NT へのインストール手順を、Windows NT インストール済みのパソコンに REX-PCI31 を取り付ける場合で説明します。Server および Workstation は同様に行えます。

本製品添付の REX-PCI31 WindowsNT Setup Disk を用意してください。

#### Windows NT に SCSI アダプタ (ドライバ) を追加

既に Windows NT がインストールされている環境に REX-PCI31 のドライバを組み込む方法を説明します。この作業を進める前に SCSI ボード、SCSI ターミナータ、および Windows NT が正しくインストールされているかを確認してください。

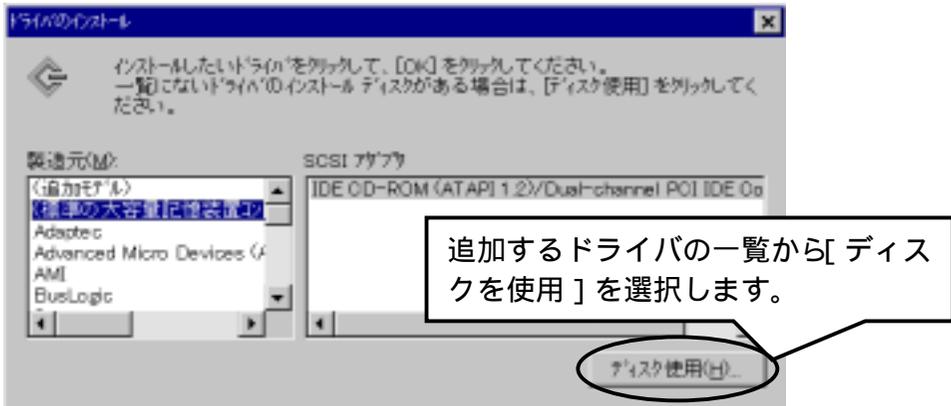
1. パソコンの電源を入れ Windows NT セッションを Administrator のユーザ権限のあるユーザで開始してください。
2. コントロールパネルから [SCSI アダプタ] のアイコンを起動します。
3. SCSI アダプタの画面が表示されます。



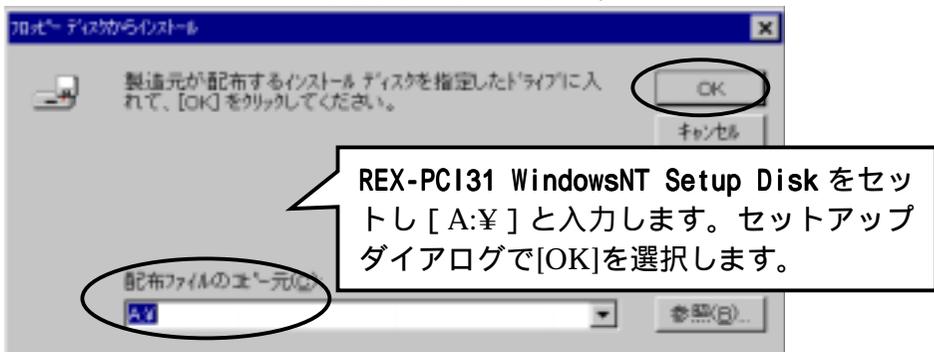
NT

## 第 6 章 Windows NT4.0 での REX-PCI31 のインストール

4. ドライバのインストール画面が表示されます。



5. ドライバのインストール画面が表示されます。

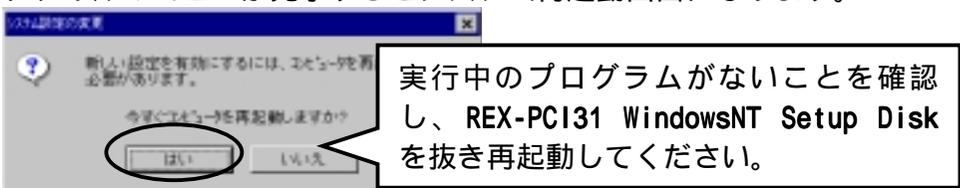


NT

6. SCSI アダプタの選択画面になります。



7. ファイルのコピーが完了するとシステム再起動画面になります。

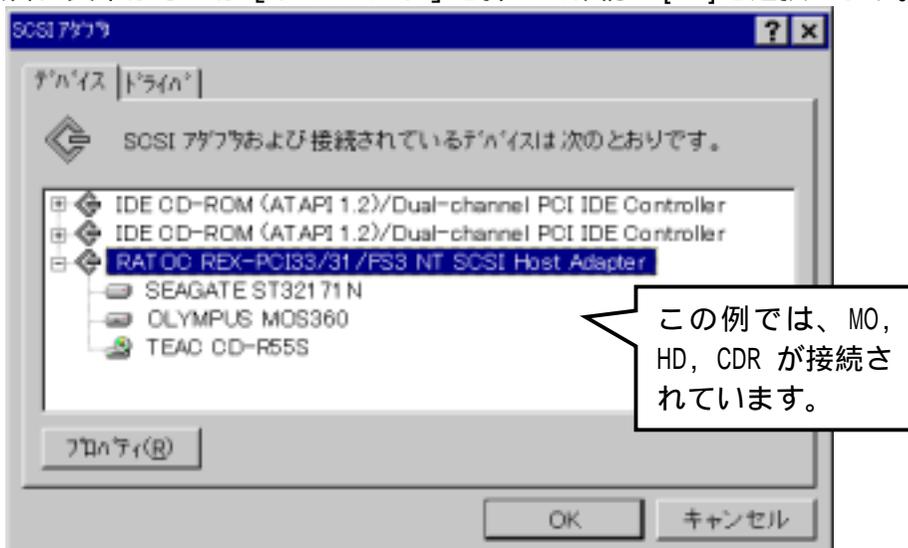


### ドライバ起動の確認

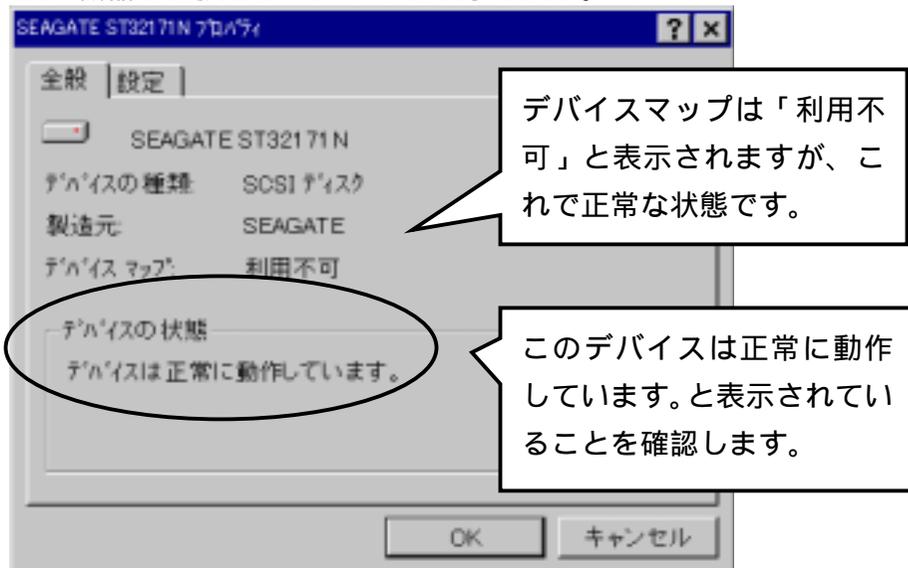
システム再起動時、エラーが出ないことを確認してください。

エラーが出た場合、スタートメニューの管理ツール(共通)のイベントビューワを起動して何がエラーを起しているか確認してください。

ここでは、ドライバが正しく動作しているかの確認方法について説明します。再起動後、コントロールパネルの SCSI アダプタを再度起動し、[RATOC REX-PCI33/31/FS3 NT SCSI Host Adapter]が追加されていることを確認してそれを更にダブルクリックすると接続してある SCSI 機器が表示されます。各項目に異常がないか [プロパティ] を押して確認し [OK] を選択します。



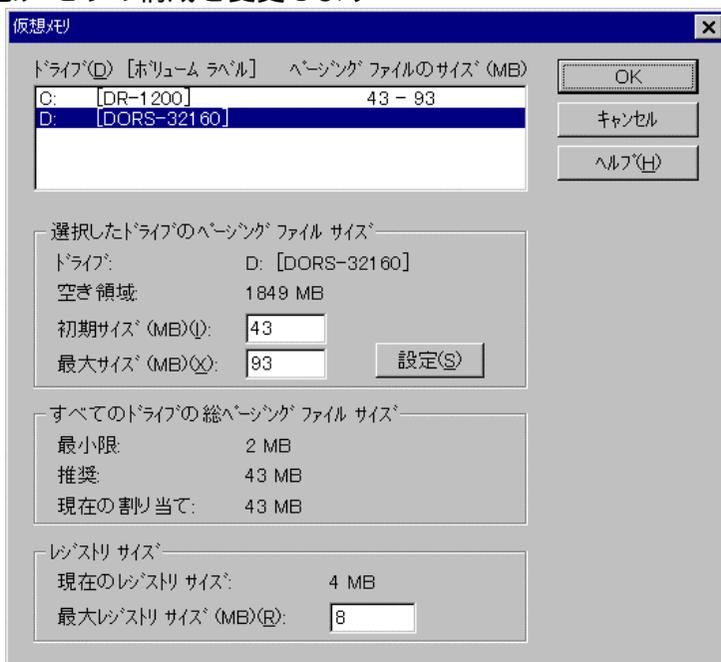
SCSI 機器を選択しプロパティを表示します。



### スワップファイルを SCSI ハードディスクに

SCSI ハードディスクより Windows NT4.0 を起動している場合、関係ありません。EIDE ハードディスクより Windows NT4.0 を起動する場合、パフォーマンス向上のためスワップファイルを高速な SCSI ハードディスクに変更する方法です。

1. マイコンピュータのアイコンを右クリックしプロパティを選択します。
2. システムのプロパティ [ パフォーマンス ] のタブを選択します。
3. [ 仮想メモリ ] の欄の [ 変更 ] を選択します。
4. 仮想メモリの構成を変更します



この例では、C ドライブが EIDE ハードディスクで D ドライブが SCSI ハードディスクです。

D ドライブの構成で初期サイズ、最大サイズを C ドライブと同様の容量を確保するとよいでしょう。

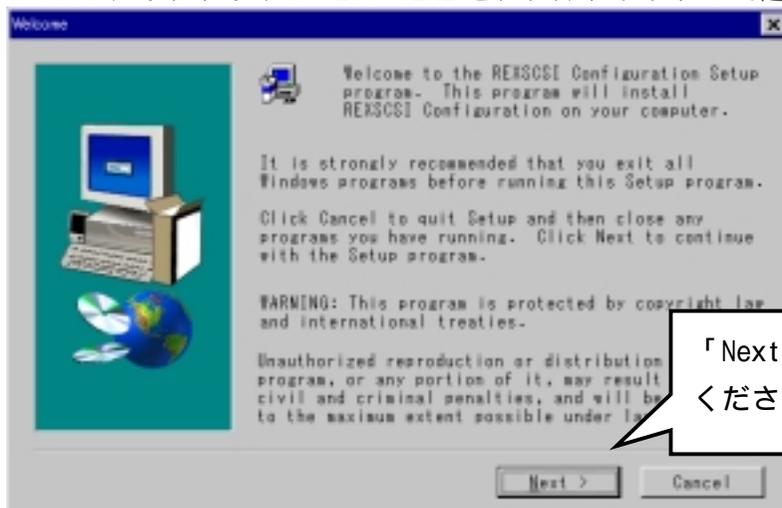
C ドライブの構成は “ なし ” に設定します。

5. システムを再起動してください。  
仮想メモリの設定が有効となります。

### SCSI ユーティリティのインストール

SCSI コンフィギュレーションユーティリティ (SCUINICN.EXE) のインストールを行います。

1. 添付の REX-PCI31 WindowsNT Setup Disk をフロッピーディスク装置にセットしデスクトップ画面の[マイコンピュータ]からフロッピーディスクのアイコンをダブルクリックします。
2. SCSIUT ディレクトリの SETUP.EXE をダブルクリックして起動します。



3. 画面の指示に従ってインストールを進めます。  
「Windows の再起動」の確認画面が表示されたら、**REX-PCI31 WindowsNT Setup Disk を抜いて**、「Yes, ...」を選択し「OK」を押して再起動してください。
4. SCSI ユーティリティのインストールが正常に終了すると[スタート]ボタンからのプログラムメニューの中に[SCSI Utility]が追加されています。再起動しない場合、ユーティリティが正しく動作しません。

SCSI コンフィギュレーションユーティリティ (SCUINICN.EXE) とは :  
REX-PCI31 の SCSI 構成情報を変更します。  
特殊な設定が必要な SCSI 機器が接続されているとき、本プログラムをお使いください。詳細は、SCSI コンフィギュレーションユーティリティ (P53) を参照してください。

### WNASPI32.DLL の組み込み (オプション)

ここでの作業は必ずしも必要ではありません。必要な場合に限り行ってください。

Windows NT4.0 上でのイメージスキャナ、フィルムスキャナの使用で 32 ビット版 ASPI マネージャ ( WNASPI32 または WINASPI32 ) が必要となるスキャナソフトがあります。

32 ビット版 ASPI マネージャがスキャナに添付のソフトウェアに含まれていない場合や、スキャナメーカーから提供されていない場合に限り、本製品添付の REX-PCI31 Windows NT 用 Setup Disk に含まれる 32 ビット版 ASPI マネージャ ( WNASPI32.DLL ) を組み込んでください。

CD-R/RW 用書き込みソフトも 32 ビット版 ASPI を必要としますが、書き込みソフトのインストールと同時に 32 ビット版 ASPI がインストールされますのでそちらをお使いください。

### WNASPI32 のインストール方法

Windows NT を Administrator のユーザ権限のあるユーザで開始します。

1. REX-PCI31 Windows NT 用 Setup Disk をフロッピーディスク装置にセットしデスクトップ画面の [ マイコンピュータ ] からフロッピーディスクのアイコンをダブルクリックします。
2. [ ASPI32 ] ディレクトリを開きます。
3. [ WNASPI32 ] または [ WNASPI32.INF ] ファイルを選択してマウスの右クリックメニューを表示させます。
4. 表示されたメニューの [ インストール ] を選択実行するとファイルがコピーされインストールが終了します。
5. REX-PCI31 Windows NT 用 Setup Disk を抜いて、Windows NT を再起動します。

上記手順でインストールができない場合は、[ ASPI32 ] ディレクトリにある [ WNASPI32.DLL ] ファイルを Windows NT のシステムディレクトリ ( 通常は、Winnt¥system32 ディレクトリ ) へコピーして Windows NT を再起動してください。

### WNASPI32 のアンインストール方法

1. コントロールパネルの [ アプリケーションの追加と削除 ] を起動します。
2. [ RATOC WinASPI32 for Windows 2000/NT4.0 ] を選択します。
3. [ 追加と削除(R) ] ボタンを押すと WNASPI32.DLL が削除されます。

NT

### 7. SCSI コンフィギュレーションユーティリティについて

ここでは、SCSI コンフィギュレーションユーティリティプログラム (SCUINICx.EXE) の使用方法を説明します。 REX-PCI31 の EEPROM に SCSI 構成の設定値を参照および更新します。通常、初期値にてご使用頂けますが接続する SCSI 機器によっては変更する必要がある場合があります。

オペレーティングシステム	プログラム名
Windows 98/95	SCUINICW.EXE
Windows 2000	SCUINICN.EXE
Windows NT	SCUINICN.EXE

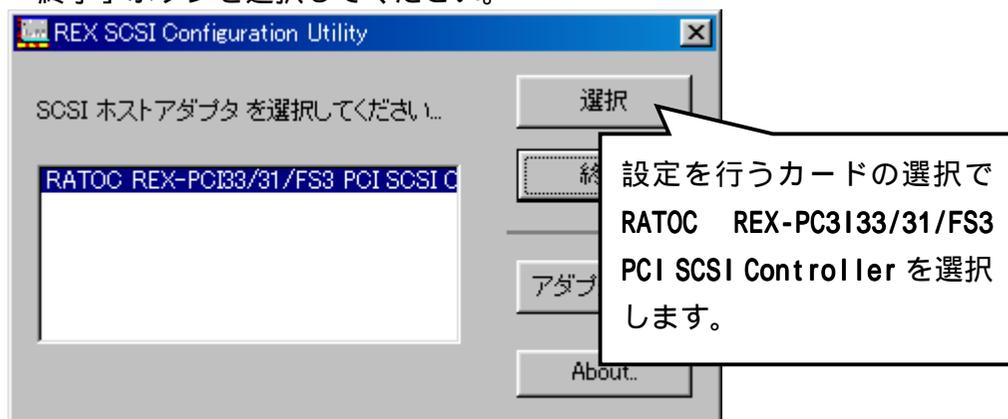
ここでは、Windows98/95 での SCSI コンフィギュレーションを中心に説明します。Windows2000, NT では若干異なる部分もありますが、基本的には同じ内容です。

#### プログラム起動方法

[スタート] ボタンから [プログラム] [SCSI Utility] [SCSI コンフィギュレーション] を実行します。

**必ず起動する前に、すべてのプログラムの実行を終了してください。また、SCSI 機器が接続されている場合は、念のために Windows を終了して一時的に SCSI 機器を取り外してください。**

この画面が表示された時点で他のプログラムの終了が不可能な場合、「終了」ボタンを選択してください。



次項のコンフィギュレーション画面にて設定を参照および更新してください。設定を終了したら [書き込み] を押してください。設定値が REX-PCI31 に書き込まれます。

## 第7章 SCSI コンフィギュレーションユーティリティについて

### コンフィギュレーション画面

[選択]を選択すると次の画面が表示されます。



設定値の書き込みを行います

書込まずに終了します。

設定値を初期値にします。

**【ホスト SCSI ID】** < 選択値：0 ~ 15 初期値：7 >

SCSI 機器で7以外使用できない場合のみ変更してください。

WideSCSI に対応していない機器を接続する場合は、0~7の範囲で設定してください。

**【バースト転送】** < 選択値：有効/無効 初期値：有効 >

PCI バーストがサポートされていない環境の場合、無効に設定してください。

**【パリティチェック】** < 選択値：有効/無効 初期値：有効 >

パリティチェック機能のない旧式の SCSI 機器がある場合のみ無効にしてください。

**【SCSI BIOS】** < 選択値：有効/無効 初期値：有効 >

本設定を無効にすると SCSI-BIOS はメモリに常駐しません。

**【転送速度】** < 選択値：40 ~ 5 初期値：40 >

転送速度は SCSI カードと SCSI 機器の最初のネゴシエーション時に 40、26.6、20、16.6、13.2、11.4、10、5MB/S と落として可能な速度を決定します。

**【同期転送】** < 選択値：有効/無効 初期値：有効 >

非同期の SCSI 機器の場合、無効（非同期）を選択してください。

## 第7章 SCSI コンフィギュレーションユーティリティについて

また、動作が安定しないとき無効に設定してみてください。

**【ワイド転送】** < 選択値：有効 / 無効 初期値：有効 >

ワイド転送できない SCSI 機器の場合、自動的にワイド転送モードでなくなります。自動切換えができない場合、無効に設定します。このとき転送速度の数値が半分の値に変更されます。

**【ディスコネクト】** < 選択値：有効 / 無効 初期値：有効 >

この指定を有効にすると SCSI デバイスを一時的に SCSI バスから切り離すことができます。これによりデバイスを一時的に切り離している間に、SCSI カードがバスの他の機能を高速に実行できることがあります。バスが必要な場合に、デバイスと SCSI カードを再度接続することができます。**SCSI 機器接続時動作が安定しない場合、同期転送無効、ワイド転送無効、ディスコネクト無効の設定にしてみてください。**

**【リムーバブル BIOS サポート】** < 選択値：有効 / 無効 初期値：無効 >

リムーバブルディスクを固定ディスクと同様に扱います。

有効にした場合、イジェクト時にファイルのオープン中でないことの確認が必要です。

**【CD-ROM ブート】** < 選択値：有効 / 無効 初期値：無効 >

SCSI CD-ROM ドライブよりブート可能な CD-ROM を読み込みブートします。無効にした場合は、Ctrl+B を押したときのみ、この機能が働きます。

WindowsNT 4.0 の CD-ROM からのブートはサポートしておりません。

**【ターミネータ設定】** < 初期値：自動設定 >

**自動設定**：SCSI ボード上のターミネータは、接続状態に応じて自動的に設定されます。

**上位のみ有効**：High ターミネータ有効。Low ターミネータ無効。

**常に有効**：High ターミネータ、Low ターミネータともに有効。

**無効**：High ターミネータ、Low ターミネータともに無効。

**【ブート SCSI ID】** < 選択値：0 ~ 15 初期値：0 >

SCSI ハードディスクからブートする場合、対象とする SCSI ID を指定します。

**【スタートアップディレイ】** < 選択値：1 ~ 20 初期値：6 >

リセット後に次のコマンドをすぐに受け付けられないような SCSI 機器を接続している場合に、SCSI 機器へのリセット発行後、次の SCSI コマンドを発行するまでのウェイト時間を秒数で指定します。

## 第7章 SCSI コンフィギュレーションユーティリティについて

【リクエストセンスディレイ】 < 選択値 : 0 ~ 765  $\mu$ s 初期値 : 15 >

チェックコンディション後に次のリクエストセンスコマンドをすぐに受け付けられないような SCSI 機器を接続している場合に、SCSI 機器からチェックコンディションを受信後、次のリクエストセンスコマンドを発行するまでのウェイト時間を秒数で指定します。



### 8 . トラブルシューティング

REX-PCI31 を使用する場合の主なトラブルシューティングについて説明します。REX-PCI31 の Setup Disk の「README.TXT」ファイルに追加情報がありますのでこちらをご覧ください。また、最新の情報については、インターネットの弊社ホームページ上の FAQ ( 質問と回答 ) のコーナーをご覧ください。

#### オペレーティングシステム共通のトラブル

##### SCSI-BIOS スタート画面が表示されない場合

Q: SCSI ボードが起動しません。(SCSI-BIOS スタート画面が表示されない)

A1: PCI スロットにしっかり装着されていない場合がよくあります。

PCI スロットを搭載した初期のパソコンでよく起こります。

これはパソコンが完全にプラグアンドプレイに対応していないために発生します。

パソコンのシステム BIOS の変更を起動 ( パソコン起動時に何を押せば起動できるか表示されています ) して PCI スロットの構成変更を行ってください。

そこで、PCI スロットの番号 ( REX-PCI31 をセットしたスロット番号 ) の定義に、割り込み番号を IRQ=11 を、I/O アドレスを FF00H に予約定義してください。

システム BIOS の変更を終了するとき構成を保存してください。

A2: ボード上の J3 が BIOS OFF 側に設定されていないか確認してください。

##### SCSI-BIOS の起動画面を非表示にしたい場合

Q: REX-PCI31 の起動画面を表示しないようにしたい。

A: REX-PCI31 に接続した機器からシステムを起動する必要がなければ、REX-PCI31 のボード上の J3 の設定で SCSI-BIOS を無効 (OFF) にすると非表示になります。

SCSI-BIOS の設定で「Enable Host Adapter BIOS」を No にするだけでは、非表示にはできません。

### FUJITSU M0(M2512A,M2513A) を使用の場合

Q: FUJITSU M0 を採用している古い M0 ドライブを接続するとハングアップします。

A: FUJITSU M0 を採用している比較的古い M0 ドライブでこのような現象が発生することがあります。

ハングアップする場合、以下の手順で転送速度を 10MB/s に設定してください。

1. REX-PCI31 に接続している SCSI 機器の電源を OFF にします。
2. SCSI コンフィギュレーションを実行します。
3. FUJITSU M0 に該当する SCSI-ID の「転送方式」の値を 10MB/s に変更します。
4. [OK] をクリックして書き込み後、システムを終了してパソコンの電源を切ります。
5. REX-PCI31 に SCSI 機器を接続してパソコンを起動します。

### PC98-NX で SCSI ハードディスクより起動する場合

Q: PC98-NX (Fine を除く) で REX-PCI31 に接続したハードディスクより起動したいのですがどうすればできますか。

A: DOS/V と同様、内蔵 HD を未接続(プライマリマスタをなし)にして(または取り外して)しまえば可能ですが、内蔵 IDE を D: ドライブとして使用することが可能です。

1. システム起動画面で「F2」を押して BIOS セットアップ画面を表示します。
2. 「起動」のタグより 1. ~ 4. の中に [取外し可能デバイス] があることを確認します。
3. 「ハードディスク」を選択します。 1. に [その他の起動ドライブ] がくるように設定します。
4. 設定を保存してシステム再起動してください。SCSI ハードディスクより起動を開始します。[起動時のメニュー] が表示されるようになります。Enter を押してください。

## 第 8 章 トラブルシューティング

---

### REX-PCI31 を装着するとシステム起動が遅くなる場合

- Q: REX-PCI31 を導入する前に比べて、システム起動時間が遅くなりました。
- A: 仕様です。システム起動時にパソコンが REX-PCI31 を認識する処理と REX-PCI31 が接続している SCSI 機器を認識する処理が追加されるため、システム起動が 10 秒から 20 秒ほど遅くなります。起動が遅くなる時間がこの範囲であれば正常に動作しています。

### IDE の CD-ROM が使えない場合

- Q: IDE の CD-ROM が使えなくなりました。
- A: 使用するパソコンによっては、セカンダリのマスタに接続してある CD-ROM が使えなくなる場合があります。この場合、セカンダリのスレーブに接続するか、プライマリのスレーブに接続を変更してください。

## Windows98/95 のトラブル

### REX-PCI31 のドライバを完全削除するには

- Q: インストールの途中で、REX-PCI31 Windows98/95 SetupDisk からの読み込みを行わず「完了」を押してしまいました。再度、REX-PCI31 を装着しましたが、新しいハードウェアの追加が行われません。
- A: インストールに失敗した場合など REX-PCI31 環境を完全に取り除く方法を説明します。
- 以下の 3 つの作業からなります。
- デバイスツリーからの削除
  - ドライバファイルと INF ファイルの削除
  - レジストリの削除

#### デバイスツリーからの削除

1. コントロールパネルを開きます。  
[ スタート ] - [ 設定(S) ] - [ コントロールパネル(C) ] メニューで開きます。
2. コントロールパネルの中の [ システム ] を起動します。  
[ システム ] アイコンをダブルクリックします。

3. デバイスマネージャを開きます。  
[ デバイスマネージャ ] タグを選択するとデバイスツリー表示に切り替わります。
4. SCSI BOARD を削除します。  
[ SCSI コントローラ ] の [ + ] をクリックして [ RATOX REX-PCI33/31/FS3 PCI SCSI Controller ] がある場合、それを選択して [ 削除 ] ボタンをクリックします。  
SCSI コントローラにない場合 [ その他のデバイス ] の [ + ] をクリックしてその中に登録されていないか確認します。

### ドライバファイルと INF ファイルの削除

1. [ マイコンピュータ ] を開き、[ 表示(V) ] - [ オプション(O) ] にて [ すべてのファイルを表示(S) ] をチェックします。
2. [ スタート ] ボタンから [ 検索 ] - [ ファイルやフォルダ ] を選択します。
3. [ 名前(N): ] に「REXPCI3X.MPD」と入力します。
4. [ 探す場所(L): ] に Windows 98/95 がインストールされているディレクトリ名を入力します。
5. [ 検索開始(I) ] をクリックします。
6. [ REXPCI3X.MPD ] が表示されたら、それを選択して削除キー (DEL) を押して削除します。通常 [ Windows¥system¥iosubsys ] ディレクトリにあります。
7. [ 名前(N): ] に「PCI3XRATOCREXPCI3X.INF」と入力します。
8. [ 探す場所(L): ] に Windows 98/95 がインストールされているディレクトリ名を入力します。
9. [ 検索開始(I) ] をクリックします。
10. [ PCI3XRATOCREXPCI3X.INF ] が表示されたら、ファイルを開いて REX-PCI31 の情報ファイルであることを確認します。  
そのファイル (PCI3XRATOCREXPCI3X.INF) を選択して削除キー (DEL) を押して削除します。通常 [ Windows¥inf¥other ] ディレクトリにあります。

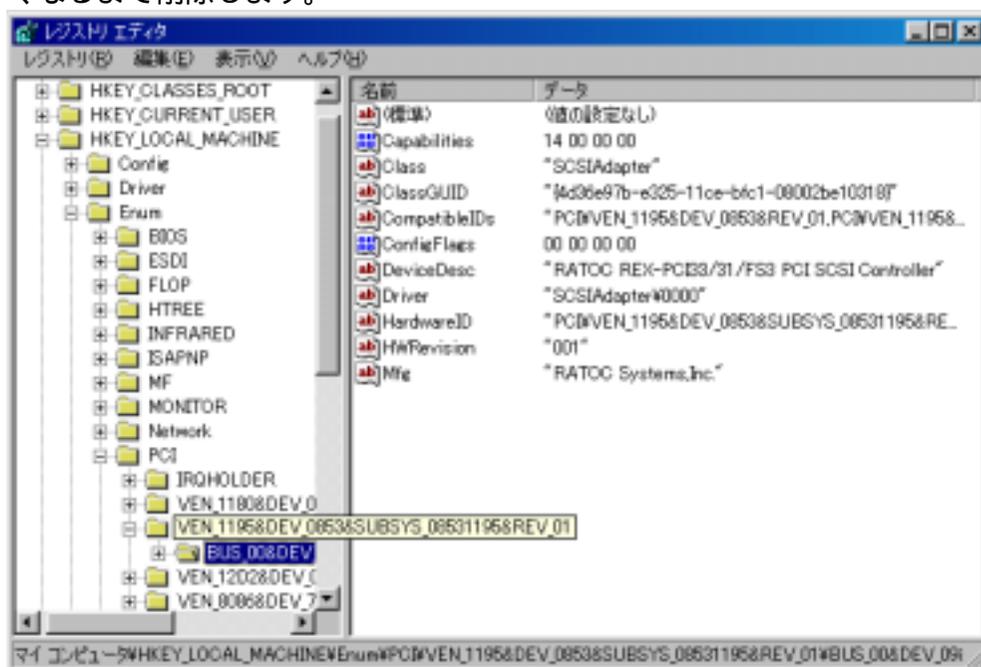
## 第8章トラブルシューティング

### レジストリの削除

レジストリエディタの使用方法を誤ると、システムに重大な障害が発生する可能性があります。使用に関しては、十分に注意してください。

1. [スタート] ボタンから [ファイル名を指定して実行] を選択します。
2. [名前(0): ] に「REGEDIT」と入力して [OK] ボタンをクリックします。
3. [HKEY\_LOCAL\_MACHINE] - [Enum] - [PCI] と順番に開きます。そして、文字列が[RATOC REX-PCI33/31/FS3 PCI SCSI Controller] と登録されているか確認します。

そのキー (VEN\_1195&DEV\_0853&SUBSYS\_08531195&REV\_01) を選択して削除キー (DEL) を押して削除します。この記述が複数の場合、すべてなくなるまで削除します。



4. 削除したらレジストリエディタを終了します。  
これで完全にドライバは削除されました。

### Windows 98 でドライバ更新する場合

Q: インターネット等より、新しいドライバ FD を入手したのだが組込みは？

A: ここでは、ハードディスクの DOWNLOAD ディレクトリの中に REX-PCI31 ディスクがダウンロードできているものとして説明します。

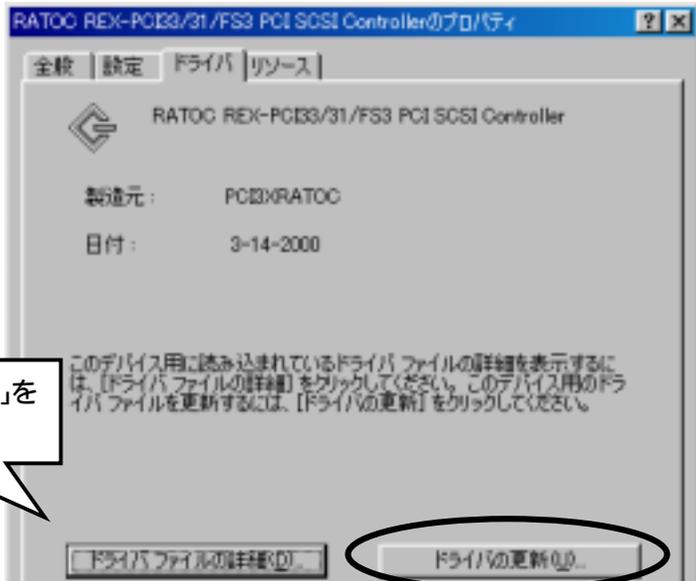
1. DOWNLOAD ディレクトリに PCI31\_02.EXE (仮称) があることを確認します。
2. PCI31\_02.EXE をダブルクリックして実行します。
3. 解凍実行画面が表示され複数のファイルが登場します。
4. PCI31\_02.EXE ファイルを削除します。
5. DOWNLOAD ディレクトリのプロパティを参照して、DOWNLOAD ディレクトリが 1.44MB 以下の容量がチェックします。
6. 1.44MB フォーマット済みの空のフロッピーディスクを用意します。
7. DOWNLOAD ディレクトリ内のすべてのファイルを選択して、フロッピーディスクにコピーし、ラベルに REX-PCI31 Windows98/95 SetupDisk xx/xx/xx 版 (ReadMe ファイルのタイムスタンプ) と記載します。

新しいバージョンの REX-PCI31 Windows98/95 SetupDisk が完成しました。

続いて、ドライバの更新を行います。

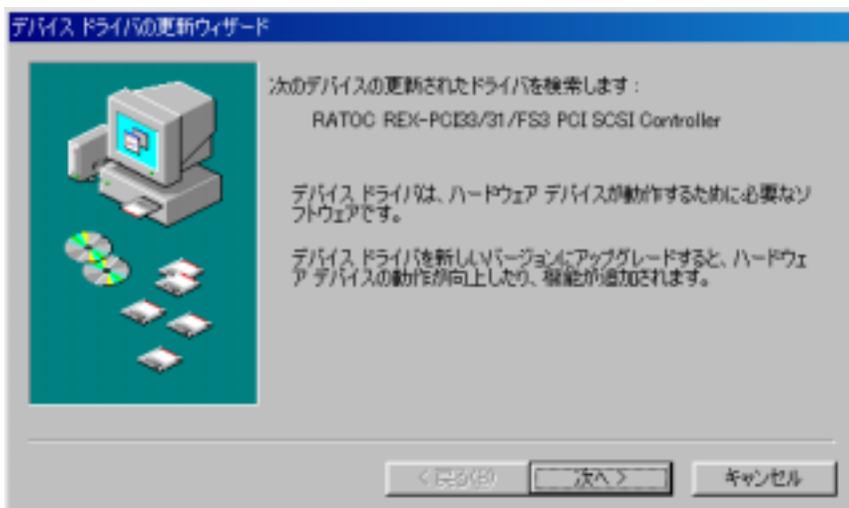
1. コントロールパネルのシステムを開きます。さらにデバイスマネージャを選択します。
2. SCSI コントローラをクリックし、「RATOC REX-PCI33/31/FS3 PCI SCSI Controller」と表示されていることを確認します。「プロパティ」「ドライバ」を表示します。

「ドライバの更新」を押します。

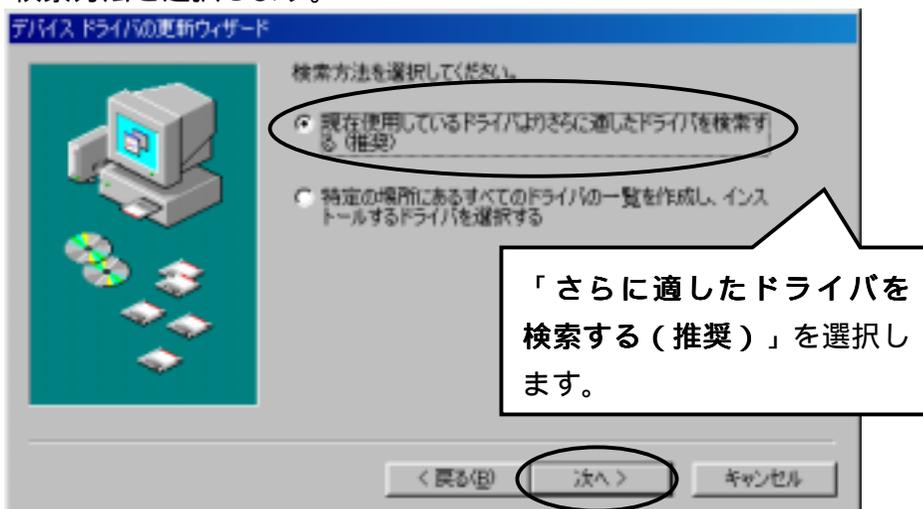


3. 「デバイスドライバの更新ウィザード」が実行されます。

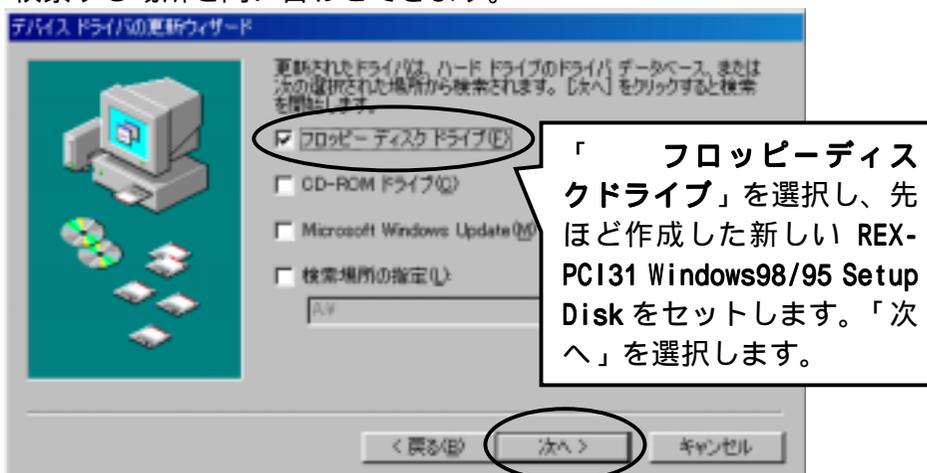
## 第8章トラブルシューティング



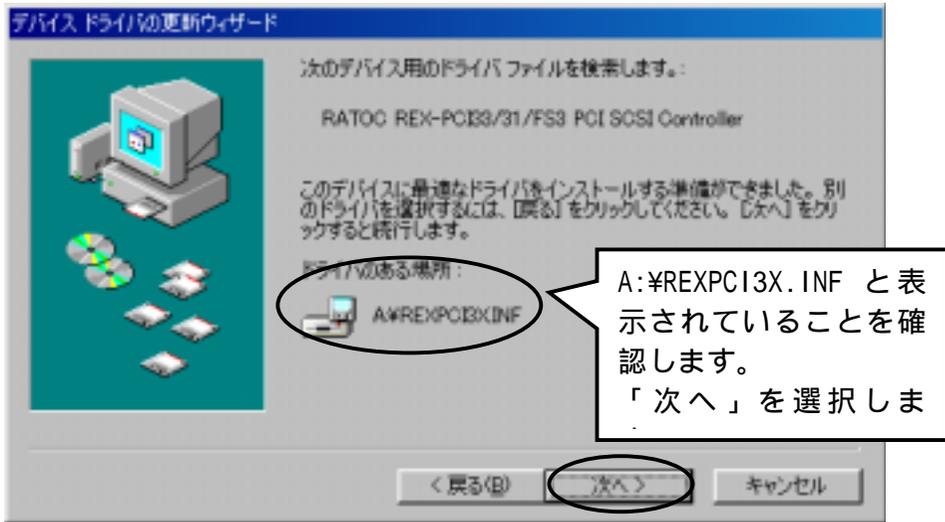
4. 検索方法を選択します。



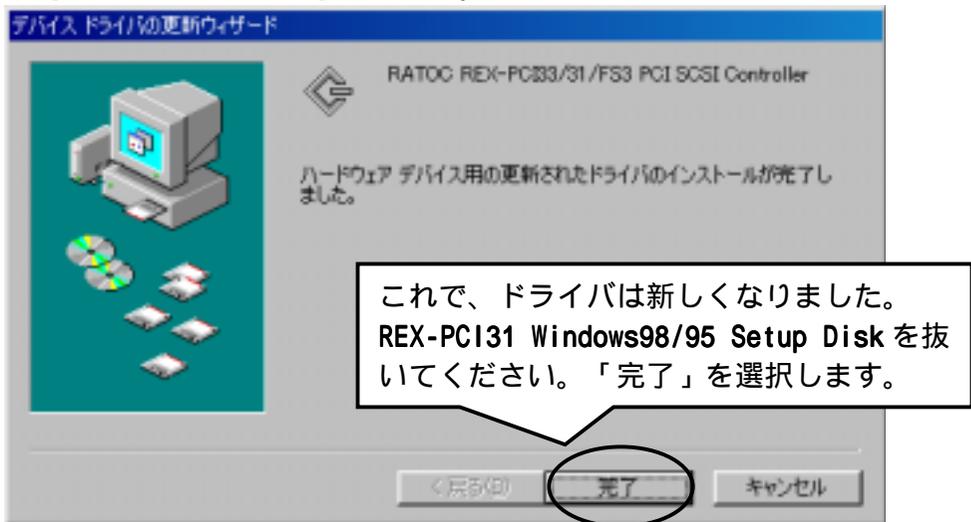
5. 検索する場所を問い合わせてきます。



6. 読み込み元のドライバ確認の画面になります。



7. 完了のメッセージが表示されます。



更新されたかどうかの確認を行います。

1. 再度ドライバのタグを選択します。  
製造元の日付が新しくなっています。  
「ドライバファイルの詳細」を選択します。
2. ドライバの詳細が表示されます。  
お問い合わせの際、このバージョンをお知らせください。

### Windows 95 でドライバ更新する場合

Q: インターネット等より新しいドライバ FD を入手したのだが組み込みは？

A: ここでは、ハードディスクの DOWNLOAD ディレクトリの中に REX-PCI31 ディスクがダウンロードできているものとして説明します。

1. DOWNLOAD ディレクトリに PCI31\_02.EXE (仮称) があることを確認します。
2. PCI31\_02.EXE をダブルクリックして実行します。
3. 解凍実行画面が表示され複数のファイルが登場します。
4. PCI31\_02.EXE ファイルを削除します。
5. DOWNLOAD ディレクトリのプロパティを参照して、DOWNLOAD ディレクトリが 1.44MB 以下の容量がチェックします。
6. 1.44MB フォーマット済みの空のフロッピーディスクを用意します。
7. DOWNLOAD ディレクトリ内のすべてのファイルを選択して、フロッピーディスクにコピーし、ラベルに REX-PCI31 Windows98/95 SetupDisk xx/xx/xx 版 (ReadMe ファイルのタイムスタンプ) と記載します。

新しいバージョンの REX-PCI31 Windows98/95 SetupDisk が完成しました。

続いて、ドライバの更新を行います。

1. コントロールパネルのシステムを開きます。さらにデバイスマネージャを選択します。  
SCSI コントローラをクリックし、「RATOC REX-PCI33/31/FS3 PCI SCSI Controller」と表示されていることを確認します。RATOC REX-PCI33/31/FS3 PCI SCSI Controller を選択し、「プロパティ」を表示します。
2. ドライバのタグを表示します。  
「**ドライバの更新**」を押します。
3. デバイスドライバウィザードが開始されます。  
新しい REX-PCI31 Windows98/95 SetupDisk をフロッピーディスクドライブにセットして、「自動検出をする」を選択します。  
「次へ」を選択します。
4. ドライバ発見のメッセージが表示されます。  
**このデバイス用の更新されたドライバが見つかりました。**と表示されることを確認して、「完了」を選択します。

5. 以下の画面が表示される場合があります。



「OK」を押します。

6. ファイルのコピー元を入力する画面になります。  
フロッピーディスクドライブを選択し、「OK」を押します。  
コピーが開始され、ドライバの更新が完了します。  
REX-PCI31 Windows98/95 SetupDisk を抜いてください。

5.6. については表示されない場合もあります。コピーが開始され、新しいドライバが実行されます。古いドライバに戻す場合、一度ドライバの削除 (P59) を行い、以前の REX-PCI31 Windows98/95 SetupDisk を使用して新規インストールしてください。

### データ転送中にハングアップしたり VXD 中断画面になったりする場合

Q: データ転送中にハングアップしたり VXD 中断画面になったりします。

A:

- ・ SCSI ケーブルが良質のものか確認してください。
- ・ ターミネータはアクティブターミネータか確認してください。
- ・ SCSI ケーブル長が総計 1.5m 以内 (Ultra の場合) であるか確認してください。  
外付けユニット 1 台で約 15cm 使用します。  
SCSI 機器の台数を減らしてみてください。
- ・ SCSI 機器台数が多いと自動ターミネータが正しく動作しない場合があります。

SCSI コンフィギュレーションの SCSI-BIOS の設定を実行して手動設定してください。

## 第 8 章 トラブルシューティング

---

### SCSI 機器に対して転送速度を設定する場合

Q: SCSI 機器に対して転送速度を設定したい。

A: オペレーティングシステムでの設定は、有効となりません。

Windows 98/95 のデバイスマネージャのディスクドライブのプロパティ表示での「同期データ転送」設定は有効となりません。

SCSI-BIOS の設定を使用して、転送方式の項目で該当する SCSI 機器の速度に設定してください。

### ドライバがインストールされていないとなる場合

Q: ドライバのインストールが正しく行われたにも関わらず、プロパティの画面でインストールされていないと表示され黄色の(!)エクスクラメーションマークになります。

A: SCSI 機器との転送不具合の場合にこのようになります。

一度 SCSI 機器の電源を OFF にして立ち上げます。ドライバのプロパティが正常に動作していますと表示されていることを確認し、システム再起動して SCSI-BIOS の設定から最大同期転送速度を現在の設定値より小さな値に設定してください。

### 全体的なシステムのパフォーマンスが低下しますと表示される場合

Q: コントロールパネルのシステムのプロパティのパフォーマンスを見ると「全体的なシステムのパフォーマンスが低下します」と表示されているのですがどうしてでしょうか。

A: 16 ビット版 ASPI マネージャ (ASP850.SYS) が登録されているためです。CONFIG.SYS を編集して ASP850.SYS をコメントにしてください。

### その他のデバイスに PCI SCSI BUS Controller が表示される場合

Q: SCSI デバイスに登録されず、その他のデバイスに登録されてしまいました。まだ、ドライバは読み込んでいません。

A: PCI SCSI BUS Controller を選択し、プロパティのドライバ変更を選択します。

ハードウェアの選択画面で SCSI コントローラを選択します。ドライバディスクをセットしドライバの場所を選択してインストールします。

### その他のデバイスに PCI Brige として登録される場合

Q: SCSI デバイスに登録されず、その他のデバイスに登録されてしまいました。

まだ、ドライバは読み込んでいません。

A: PCI Brige を選択し、削除キーを押してください。

システム再起動により“新しいハードウェア”の画面が表示されます。

後は、本文の記述に従ってインストールしてください。

### PC98-NX でデバイスマネージャの画面が表示されない場合

Q: ドライバの登録確認のため、デバイスマネージャの画面を表示しようとしてありません。

A: PC98-NX では、標準で、キッズモードまたはベーシックモードに設定されています。

[プログラム]の[CyberTrio-NX]の[Go To アドバンスモード]を実行してください。

また、レジストリエディタを起動する場合も同様です。

### SCSI HD が second IDE HD より前のドライブ名となる場合

Q: REX-PCI31 に接続された HD が、セカンド IDE に接続された HD のドライブ名より前のドライブ名に割り当てられます。

A: Windows NT の場合、ディスクアドミニストレータでドライブ名の変更を行ってください。

Windows 95 の場合、システムプロパティで MO,CD-ROM 等はドライブ名の変更ができますが HD はできません。REX-PCI31 の SCSI-BIOS の設定で「Enable Host Adapter BIOS」の項目を No : にします(コントロールしない)。

### SCSI 機器接続確認で準備ができていませんと表示される

Q: Windows 98/95 用 SCSI 機器確認ユーティリティ(WINSSC)にて、接続されている CD-R,CDRW,MO 等を確認すると、Device Status の欄に「ドライブの準備ができていません」と表示されます。

A: CD-ROM、CD-R、MO 等の場合、メディアが挿入されていないときには、「ドライブの準備ができていません」と表示されます。これで正常です。メディアを装着し、再度画面表示しますと「Ready」となります。

### UltraSCSI 対応機器が SCSI-2 と表示される場合

Q: Ultra SCSI の機器を接続していますが、SCSI 機器接続ユーティリティ (WinSSC) で確認すると適合規格が「SCSI-3」と表示されず、「SCSI-2」と表示されます。

A: 適合規格の表示は、SCSI 機器側が返す値 (Inquiry データの ANSI バージョン) をそのまま表示しています。

UltraSCSI 対応の機器であってもその SCSI 機器側が、「SCSI-2」を返しているためこのような表示になります。

SCSI 機器側が、「SCSI-3」と返す場合は、「SCSI-3」と表示されます。

ほとんどの UltraSCSI ハードディスクは「SCSI-2」を返します。詳細についてはドライブメーカーへお問い合わせください。

### 不明なデバイスが検出されると表示の場合

Q: スキャナを接続して REX-PCI31 をインストールすると「不明なデバイスが検出されました」と表示してドライバの読み込みが行われません。

A: 「不明なデバイスが検出されました」の表示は REX-PCI31 に対してではなく接続しているスキャナを検出したときに表示されるメッセージです。スキャナに Windows 98/95 のドライバ (INF) が添付されている場合は、デバイスドライバウィザードで読み込ませてください。添付されていない場合は、「完了」を押してください。次回からこのメッセージは表示されなくなります。詳しくは、スキャナメーカーにお問い合わせください。

### フォーマットユーティリティ (REXFMT95) で CDR, CDRW, DVD が認識されない

Q: Windows 98/95 用 SCSI フォーマットユーティリティ (REXFMT95) にて、接続されている CD-R, CDRW, DVD を認識できません。Windows 98/95 用 SCSI 機器確認ユーティリティでは確認できるのですが。

A: Windows 98/95 用 SCSI フォーマットユーティリティ (REXFMT95) は、ハードディスク、MO、PD、リムーバブルディスクを対象としています。CD-ROM、CD-R、CDRW、DVD は対象としていません。初期化が必要な場合、ドライブメーカーにお問い合わせください。

### Windows2000 のトラブル

#### SCSI ボード経由で Windows 2000 をインストールするには

Q: REX-PCI31 に接続したハードディスクへ Windows 2000 をインストールしたいのですが

Q: REX-PCI31 に接続した SCSI CD-ROM から Windows 2000 をインストールしたいのですが

A: 以下の手順で行います。

1. Windows 2000 の CD-ROM をセットして CD-ROM からシステムを起動します。
2. 画面左上に「Windows 2000 Setup」と表示されて、画面下に「Press F6 - if you need to install a third party SCSI or RAID driver...」と表示されている間に [ F6 ] キーを押します。
3. インストールの途中で以下の画面が表示されたら、[ S ] キーを押して、「Specify Additional Device」をします。

**Setup could not determine the type of one or more mass storage devices**

.....

<none>

- \* To specify additional SCSI adapters, CD-ROM devices, or special disk controllers for use with Windows 2000, including those for manufacturer, press S.
- \* If you do not have any device support disks from a mass storage device manufacturer, or do not want to specify additional mass storage devices for use with Windows 2000, press ENTER

**S = Specify Additional Device    ENTER = Continue    F3 = Exit**

4. ディスク挿入を促す下の画面が表示されます。

**Please insert the disk labeled  
Manufacturer-supplied hardware support disk  
into Drive A:**

**\* Press ENTER when ready**

「REX-PCI31 Windows 2000 Setup Disk」をフロッピードライブにセットしてEnterキーを押します。

5. 「RATOC REX-PCI33/31/FS3 PCI SCSI Controller WIN2000」と表示されるのでそれを選択してインストールを続行します。

これで、REX-PCI31 に接続されたハードディスクへの Windows 2000 がインストールが開始されます。

### REX-PCI31 ドライバを完全削除するには

Q: 他のデバイスと REX-PCI31 のドライバが競合しているか確認するためすべての情報を削除したいのですが

A: REX-PCI31 環境を完全に取り除く方法を説明します。

以下の 3 つの作業からなります。

- SCSI アダプタからの削除
- ドライバファイルと INF ファイルの削除
- レジストリの削除

#### SCSI アダプタからの削除

1. コントロールパネルを開きます。  
[ スタート ] - [ 設定(S) ] - [ コントロールパネル(C) ] メニューで開きます。
2. コントロールパネルの中の [ システム ] を起動します。  
[ システム ] アイコンをダブルクリックします。
3. デバイスマネージャを開きます。  
[ ハードウェア ] タグを選択して [ デバイスマネージャ ] ボタンを押すとデバイスマネージャの表示に切り替わります。
4. SCSI Adapter を削除します。  
[ SCSI と RAID コントローラ ] をダブルクリックして [ PCI SCSI Adapter REX-PCI33/31/FS3 Win2K ] がある場合、それを選択して [ 削除 ] ボタンをクリックします。

#### ドライバファイルと INF ファイルの削除

1. [ マイコンピュータ ] を開き [ 表示 ] タグに切り替えます。[ ツール(T) ] メニューの [ フォルダオプション(O) ] にて [ ファイルとフォルダの表示 ] にある [ すべてのファイルおよびフォルダを表示する ] をチェックします。
2. [ スタート ] ボタンから [ 検索 ] - [ ファイルやフォルダ ] を選択します。
3. [ 名前(N): ] に「REXPCI3X.SYS」と入力します。
4. [ 探す場所(L): ] に Windows 2000 がインストールされているディレクトリ名を入力します。
5. [ 検索開始(I) ] をクリックします。
6. [ REXPCI3X.SYS ] が表示されたら、それを選択して削除キー (DEL) を押し

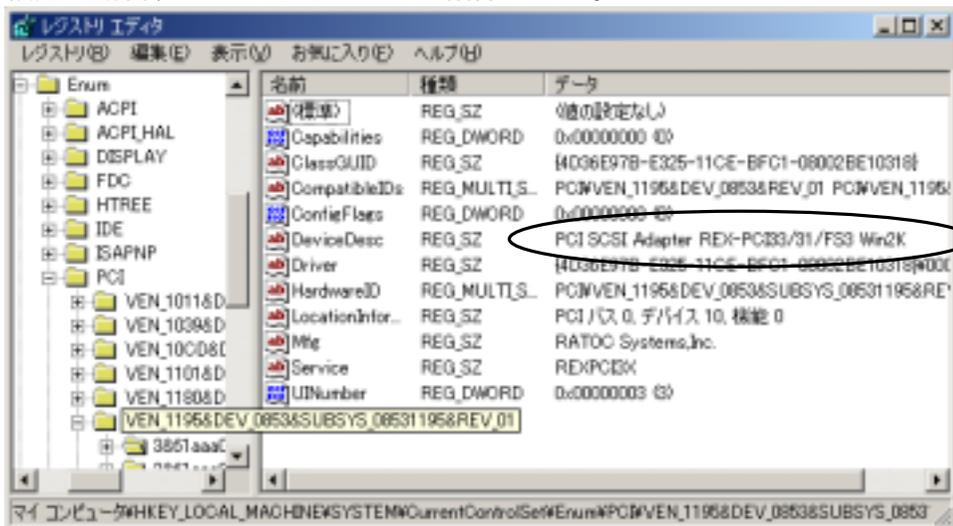
て削除します。通常[Winnt\system32\drivers]ディレクトリにあります。

7. [名前(N): ]に「OEM\*.INF」、[含まれる文字列(C): ]に「REX-PCI31」と入力します。
8. [探す場所(L): ]に Windows 2000 がインストールされているディレクトリ名を入力します。
9. [検索開始(I) ]をクリックします。
10. [OEM\*.INF]が表示されたら、ファイルを開いて REX-PCI31 の情報ファイルであることを確認します。そのファイル(OEM\*.INF)を選択して削除キー(DEL)を押して削除します。通常[Winnt\inf]ディレクトリにあります。

### レジストリの削除

レジストリエディタの使用方法を誤ると、システムに重大な障害が発生する可能性があります。使用に関しては、十分に注意してください。

1. [スタート] ボタンから [ファイル名を指定して実行] を選択します。
2. [名前(O): ]に「REGEDIT」と入力して [OK] ボタンをクリックします。
3. [ HKEY\_LOCAL\_MACHINE ] - [ SYSTEM ] - [ CurrentControlSet ] - [ Services ] - [ REXPCI3X ] と順番に開きます。そして、ImagePath の文字列が [ System32\DRIVERS\REXPCI3X.SYS ] であることを確認し、[ REXPCI33 ]を選択して削除キー(DEL)を押して削除します。この記述が複数の場合、すべてなくなるまで削除します。



4. すべてなくなったら、レジストリエディタを終了します。  
これで完全にドライバは削除されました。

## 第 8 章トラブルシューティング

---

### Device のプロパティ - SCSI のプロパティでの設定がきかない

Q: 接続機器の Device のプロパティにある SCSI のプロパティで設定を変更しましたが、動作に反映されていません。

A: Device のプロパティにある SCSI のプロパティで設定を行っても実際の動作には反映されません。

「タグ付きキューを無効にする」および「同期転送を無効にする」の設定は、REX-PCI31 Windows 2000 Setup Disk に含まれる SCSI コンフィギュレーションユーティリティから「キューイング」および「転送速度」の項目で設定してください。

### FUJITSU MO(M2512A,M2513A) を使用の場合

Q: FUJITSU MO を採用している古い MO ドライブを接続するとハングアップします。

A: FUJITSU MO を採用している比較的古い一部の MO ドライブでこのような現象が発生することがあります。

SCSI コンフィギュレーションユーティリティにて、転送速度を 10MB/S に設定してください。

1. REX-PCI31 に接続してある SCSI 機器の電源を OFF にします。
2. SCSI コンフィギュレーションユーティリティを起動します。
3. FUJITSU MO に該当する SCSI ID の転送速度を 10MB/S に設定します。
4. OK を押して設定値を書き込みます。
5. SCSI 機器の電源を入れパソコンを再起動します。

### スキャナを検出できない場合

Q: スキャナソフトを起動すると、スキャナを検出できないというエラーが表示されて使用できません。

デバイスマネージャから確認するとスキャナは認識できています。

A: Windows 2000 用の ASPI マネージャ (WNASPI32) を必要とするスキャナソフトで ASPI マネージャが組み込まれていない場合に発生します。

REX-PCI31 には、Windows 2000 用の ASPI マネージャを添付しております。

「WNASPI32.DLL の組み込み」(P45)に従って、REX-PCI31 Windows 2000 Setup Disk の [ASPI32] ディレクトリに含まれる WNASPI32.DLL をインストールしてください。

### MO/PD でフォーマットが完了しない場合

Q: MO または PD のフォーマットを実行するとフォーマットが完了しません。

A: Windows98/95 上でフォーマットされたメディアを使用する場合に発生します。

Windows 2000 上のフォーマット機能は、スーパーフロッピー形式 (Windows98/95 での一般的な形式) には対応していません。

本製品に添付されている Windows98/95 用フォーマットユーティリティを使用して、Windows98/95 上で FDISK 形式でのフォーマットを行うと、Windows2000 上でフォーマット可能となります。

### ドライブ名が割り当たらない場合

Q: デバイスマネージャの確認では OLMPUS MOS341 (例) と表示されているが、マイコンピュータにリムーバブルアイコンが表示されません。

A1: ネットワーク環境が既に構築されている場合、空きのドライブ名がないためリムーバブルディスクとしてのドライブ名の確保ができない場合、このようになります。

ネットワーク環境をチェックしなおしてください。もしくは、ネットワークカードを外して先に SCSI カードの認識を行ってください。

A2: D: ドライブに CD-ROM 等のアイコンがあり、それが D: ドライブ固定としてある場合おこります。ドライブ固定の設定を止めるか他のドライブ名を割り当てます。

変更は以下の手順で行います。

1. [コントロールパネル] の [管理ツール] を開きます。
2. [コンピュータの管理] を起動して [記憶域] の下の [ディスクの管理] を選択します。
3. CD-ROM を選択状態にして「ドライブ文字とパスの変更」を行います。

### WindowsNT のトラブル

#### スキャナを検出できない場合

Q: スキャナソフトを起動すると、スキャナを検出できないというエラーが表示されて使用できません。

コントロールパネルの SCSI アダプタから確認するとスキャナは認識できています。

A: Windows NT4.0 用の ASPI マネージャ (WNASPI32) が組み込まれていない場合に発生します。

REX-PCI31 には、Windows NT4.0 用の ASPI マネージャは添付しております。「WNASPI32.DLL の組み込み」(P52)に従って、REX-PCI31 WindowsNT Setup Disk の [ASPI32] ディレクトリに含まれる WNASPI32.DLL をインストールしてください。

#### MO/PD アクセスでパラメタに誤りがありますの場合

Q: MO または PD をアクセスするとパラメタに誤りがありますと表示されません。

A: フォーマットすることにより回避できます。以下の方法で行います。

1. 管理ツールのディスクアドミニストレータを起動します。
2. MO の領域が " 空き領域 " になっていることを確認します。それを選択します。
3. 「パーティション」「作成」を実行し、作成するパーティションサイズを全領域にします。
4. " 空き領域 " が " 未フォーマット " に変わります。
5. 「パーティション」「今すぐ変更を反映」を実行します。
6. " ディスク構成を変更しました " と表示されます。「保存しますか」で「はい」を選択。
7. " ディスクは正常に更新されました " と表示されます。
8. 「ツール」「フォーマット」を実行します。「開始」を押します。
9. マイコンピュータからリムーバブルディスクでアクセスが可能になります。

### ドライブ名が割り当たらない場合

Q: RATOX REX-PCI33/31/FS3 PCI SCSI Host Adapter の下に OLYMPUS MOS341 (例) と表示されているが、マイコンピュータにリムーバブルアイコンが表示されません。

A: D: ドライブに CD-ROM 等のアイコンがあり、それが D: ドライブ固定としてある場合おこります。ドライブ固定の設定を止めるか他のドライブ名を割り当てます。

変更の方法は、ディスクアドミニストレータで CD-ROM を選択状態にして「ドライブ文字の変更」を行います。

### DOS/Windows3.1 のトラブル

#### PD、Changer の一部が認識できない場合

Q: DOS/Windows 3.1 で PD の CD-ROM が使用できない。または Changer の 2 枚目以降が使用できない。

A: ASP850.SYS の /L オプションを付加してください。

#### 640MB の MO メディアを使用するとハングアップする場合

Q: 640MB の MO メディアを使用するとハングアップします。230MB のメディアは問題ありません。

A: 640MB の MO 等の 2K バイト / セクターのリムーバブルメディアを使用する場合で、CONFIG.SYS で SMARTDRV.EXE を組み込んでいる環境では、SMARTDRV.EXE のオプションで「ドライブ名」指定で必ずキャッシュの対象外にしてください。

### システムに関する情報の作成手順

#### 【Windows 98 でのシステム情報】

1. Windows 98 の [ スタート ] ボタンから [ プログラム ] [ アクセサリ ] [ システムツール ] [ システム情報 ] を起動します。
2. ファイルメニューの [ エクスポート ] を選択します。
3. [ 名前を付けて保存 ] 画面で任意のファイル名を入力し、[ ファイルの種類 ] が [ テキスト ファイル (\*.TXT) ] であることを確認して [ 保存 ] ボタンを押します。

#### 【Windows 95 でのデバイスマネージャのシステム概要】

1. デバイスマネージャから [ 印刷(N)... ] ボタンを押します。
2. レポートの種類に「すべてのデバイスとシステムの概要」を選択して [ OK ] ボタンを押します。

#### 【Windows 2000 でのシステム情報】

Windows 2000 へ Administrator のユーザ権限を持つユーザでログインします。

1. Windows 2000 の [ スタート ] ボタンから [ プログラム ] [ アクセサリ ] [ システムツール ] [ システム情報 ] を起動します。
2. 操作メニューの [ テキストファイルとして保存 ] を選択します。
3. [ 名前を付けて保存 ] 画面で任意のファイル名を入力し、[ ファイルの種類 ] が [ テキスト ファイル ] であることを確認して [ 保存 ] ボタンを押します。

#### 【Windows NT 診断プログラムのレポート】

Windows NT4.0 へ Administrator のユーザ権限を持つユーザでログインします。

1. Windows NT 診断プログラムを起動し [ ファイル ] メニューから [ レポートの印刷(N)... ] ボタンを押します。
2. すべてのタブ、詳細レベル概要を選択して [ OK ] ボタンを押します。ファイルに出力してメールにて送信できます。

**記入例**：RATOC REX-PCI31 質問用紙（拡大コピーの上ご記入ください）

下記ユーザ情報をご記入願います。

法人登録 の方のみ	会社名・学校名	ラトックシステム株式会社			
	所属・部署				
氏名	ラトック 太郎				
住所	〒 556-0012 大阪市浪速区敷津東 1-6-14 朝日なんばビル				
TEL	06-6633-8263	FAX	06-6633-8295	E-Mail	xx@rexpccard.co.jp
製品型番	REX-PCI31	シリアル	PB31xxxxx	NIFTY	XXX1234
販売店名	アール・ピー・エス	購入年月日	98/11/20		

下記パソコン環境情報をご記入願います。

パソコン機種名	自作機 (ASUS P2B-F Pentium 400MHz)
使用 OS	Windows 98 Windows 98 Second Edition Windows 95 Windows 2000 Windows NT4.0 DOS Ver( ) Windows 3.1
接続 SCSI 機器 に関する情報	接続している全機器の種類・メーカー名・型番・その他についてご記入ください。 拡張 Slot: Slot 1 REX-PCI31 通常 CPU に近いほうが Slot 1 Slot 2 REX-CBS51  ドライバのバージョン REXPCI3X.MPD ファイルのプロパティ 10.1a-R03 (2000 3 16 18:13) SCSI 構成: WINSCC で表示される ID:0,LUN:0 (HardDisk) IBM DCAS-34330 ID:6,LUN:0 (CD-R) YAMAHA CRW4260

質問内容：

CDR ドライブを増設したら動作が不安定になりました。  
 今まで正常に動作していた内蔵のハードディスクも不安定になりました。  
 それぞれ単体で接続した場合には問題ありません。  
 CDR ドライブは外付け用 50 ピンコネクタに接続しています。

添付資料：インストール等に関するご質問の場合は下記データが必要です。送付して頂いた  
 データをチェックしてください。

CONFIG.SYS <sup>1</sup> AUTOEXEC.BAT <sup>1</sup> システムに関する情報 <sup>2</sup>

1 Windows 95/98 のみ

2 「システムに関する情報の作成手順」(P77)を参照してください。

## RATOC REX-PCI31 質問用紙（拡大コピーの上ご記入ください）

下記ユーザ情報をご記入願います。

法人登録の方のみ	会社名・学校名				
	所属・部署				
氏名					
住所	〒				
TEL		FAX		E-Mail	
製品型番	REX-PCI31	シリアル		NIFTY	
販売店名			購入年月日		

下記パソコン環境情報をご記入願います。

パソコン機種名	
使用 OS	Windows 98    Windows 98 Second Edition    Windows 95 Windows 2000    Windows NT4.0 DOS Ver(    ) Windows 3.1
接続 SCSI 機器に関する情報	接続している全機器の種類・メーカー名・型番・その他についてご記入ください。

質問内容：

添付資料：インストール等に関するご質問の場合は、下記データが必要です。送付して頂いたデータをチェックしてください。

CONFIG.SYS <sup>1</sup>    AUTOEXEC.BAT <sup>1</sup>    システムに関する情報 <sup>2</sup>

<sup>1</sup> Windows 95/98 のみ

<sup>2</sup> 「システムに関する情報の作成手順」（P77）を参照してください。